

小学生のぼうさい探検隊  
マップコンクール

入選作品集



# 小学生のぼうさい探検隊マップコンクール

## CONTENTS

● 審査の様子	2P	● 入選作品紹介	6P
● 審査基準および応募作品の傾向	3P	● 応募状況	31P
● 審査総評	4P	● 過去の入選作品	34P

### 入選一覧

- **文部科学大臣賞**  
福島県相馬市川原町児童センター みつばち防災探検隊  
「みつばちぼうさい探検隊」(3年生/福島県)
- **防災担当大臣賞**  
蓮田安心探検隊「蓮田安心探検隊」(4年生/埼玉県)
- **消防庁長官賞**  
公益財団法人かわさき市民活動センター  
東小田小学校わくわくプラザ  
「東小田小学校わくわく調査隊」(2年生、3年生/神奈川県)
- **まちのぼうさいキッズ賞**  
(日本ユネスコ国内委員会会長賞)  
北海道函館聾学校「函聾5年生」(5年生/北海道)
- **気象庁長官賞**  
愛媛県伊予市立佐礼谷小学校  
「佐礼谷小学校ほたる守り隊」(5年生、6年生/愛媛県)
- **キッズリスクアドバイザー賞**  
(日本損害保険代理業協会賞)  
みやだ探検隊「宮田探検隊」(1年生、4年生/長野県)
- **未来へのまちづくり賞(朝日新聞社賞)**  
岩手県盛岡市立厨川小学校 境田町子供会  
「境田町子ども会」(6年生/岩手県)
- **わがまち再発見賞**  
(日本災害救援ボランティアネットワーク賞)  
レックス探検隊  
「とあみり」(4年生、6年生/滋賀県)
- **ぼうさい探検隊賞(日本損害保険協会賞)**  
かほく市子ども会 宇ノ気支部 内日角子ども会  
「『STOP!アクシデント』キッズ」(6年生/石川県)
- **審査員特別賞**  
北海道奥尻町立青苗小学校  
「青苗小3・4年 ぼうさいキッズ」(3年生、4年生/北海道)  
宮城県石巻市立北上小学校  
「北上小学校4年生(現5年生)」(4年生/宮城県)  
公益財団法人かわさき市民活動センター宮崎こども文化センター  
「宮崎こ文パトロール隊」(3年生、4年生/神奈川県)  
愛媛県宇和島市立奥南小学校「たんけん隊(船間、楠ヶ浦、大良)」  
(4~6年生/愛媛県)  
筒井探検隊「筒井探検隊」(2年生、4年生、年少/福岡県)  
沖縄県石垣市立名蔵小学校  
「名蔵探検隊」(5年生、6年生/沖縄県)  
豊崎学童クラブ「toyosakiガールズ」(3年生、4年生/沖縄県)  
北山学童「手をつないですすめ隊」(3年生、5年生/沖縄県)
- **デジタルマップ特別賞**  
大野小学校 野木崎地区探検隊「野木崎地区探検隊」  
(2年生、6年生/茨城県)  
鳥羽市安楽島子ども会  
「安楽島キッズ探検隊」(2~6年生、年長、年中/三重県)  
大西キッズ「大西キッズ」(3年生、5年生/山口県)  
高知県立高知ろう学校  
「高知ろう学校小学部」(3年生、5年生/高知県)  
沖縄県豊見城市なないろ児童クラブ  
「オーシャンスカイ探検隊」(3年生、4年生/沖縄県)

# ごあいさつ



日本損害保険協会会長の白川です。「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」の主催者を代表して、ご挨拶申し上げます。

コンクールに入賞された皆さん、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

今回、全国の410もの小学校や児童館などから、6,137人が参加し、1,179点の作品をご応募いただきました。子どもの自線ならではの気づきを活かしたマップや、外国人や高齢者の方がスムーズに避難できるように着目したマップなど、多くの個性豊かな力作を拝見しました。自分たちで抱いた疑問をもとにまち探検を行い、丁寧に調べ上げ、その結果をより多くの人々に「伝えよう」と、さまざまな工夫が施されたマップに大変感心いたしました。

日本は世界でも有数の災害大国と言われています。災害から身を守るためにはどうしたらよいかを日頃から考え、知り、いざというときに行動に移せるようにすることは、私たちにとって、とても大切なことです。例えば、災害が発生したときは、災害の種類や被害状況に応じて適切な避難先を選択しなければなりません。今回ご応募いただいたマップには、津波被害が想定される地域において、限られた避難時間で必要に応じて避難先を変えることを提案したマップなどがありました。いざというときの行動を具体的に想定した、実践的な学習になったものと推察します。

また、安心・安全な暮らしを実現するには、防犯や交通安全意識も欠かすことができません。目の不自由な人の視点に立って改善点を要望・提言に繋げているマップや、実際に交通事故が発生した地点に足を運び、周囲の状況を分析し、事故の発生原因について仮説を立てて自分たちの視点で考えをまとめたマップなどがありました。

今回、「ぼうさい探検隊」を通じて皆さんが作成したマップ、また、マップづくりを通して学んだこと、発見したことは、家族、友達や地域の方々に、皆さんの言葉で伝えていってほしいと思います。

「ぼうさい探検隊」の実施にあたり、指導にあられた皆さまやご協力いただきました地域の皆さま、そして保護者の皆さまにおかれましては、ご支援をいただきありがとうございました。2022年は新型コロナウイルス感染者数が過去最多となるなど、児童が集まってまち探検やマップ作成を行うことが難しい状況だったことと存じますが、すばらしい数々の作品をご応募いただけたのは、ひとえに皆さまのご協力のおかげです。また、「ぼうさい探検隊」の取組みに多大なるご協力とご理解を賜りました関係各府省庁、自治体、団体の皆さまにもこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

今後もこの取組みが安心・安全な地域社会づくりへの貢献に繋がっていくことを心より祈念いたしまして、私からの挨拶とさせていただきます。

いっばんしゃだんほうじん 日本損害保険協会  
一般社団法人 白川 儀一  
会長



## 「ぼうさい探検隊」とは…

子どもたちが楽しみながらまちを探検し、まちにある防災・防犯・交通安全の施設や設備を発見してマップにまとめる活動の活動のことです。マップ作成後は、発表を通して活動を振り返り、学んだことを皆で共有します。子どもたちの「安心・安全への意識」が高まるだけでなく、まさに「地域ぐるみの安全“共有”」が着実に深まり、コミュニティの強化にもつながります。

主催 日本損害保険協会/朝日新聞社/日本災害救援ボランティアネットワーク  
後援 内閣府/文部科学省/警察庁/消防庁/気象庁/UNESCO/日本ユネスコ国内委員会/日本ユネスコ協会連盟/  
全国都道府県教育委員会連合会/沖縄県/アジア防災センター/児童健全育成推進財団/日本損害保険代理業協会/  
ボーイスカウト日本連盟/ガールスカウト日本連盟/NHK

# 審査の様子

2022年度のコンクールには、全国の小学校や子ども会・児童館・少年消防クラブなど、410団体から6,137人の児童が参加し、1,179作品が寄せられました。第1回から第19回までの参加人数は、累計21万8千人を超えました。

審査員の方々から、「どの作品にもそれぞれすばらしい視点があって、甲乙つけがたい」「どの作品からも、児童と地域の方々との繋がりがひしひしと伝わってきて、選出がとても難しい」などの感想が寄せられました。

## 審査日程

事務局審査：2022年11月10日(木)  
 第一次審査：2022年11月16日(水)  
 本審査：2022年12月5日(月)  
 結果発表：2022年12月14日(水)

## 本審査の様子



## 本審査員

むろさき 室崎	よしてる 益輝氏	神戸大学名誉教授／兵庫県立大学 特任教授
やすだ 安田	ひろあき 弘秋氏	文部科学省 総合教育政策局 男女共同参画共生社会学習・安全課 安全教育推進室 防災教育係長
やまざき 山崎	まさひこ 昌彦氏	内閣府 政策統括官(防災担当)付 参事官(普及啓発・連携担当)付 参事官補佐
すずき 鈴木	ともき 知基氏	総務省消防庁 国民保護・防災部 防災課 地域防災室 課長補佐
はら 原	ふみえ 文絵氏	文部科学省 国際統括官付 国際統括官補佐
さとう 佐藤	ゆたか 豊氏	気象庁 総務部 企画課 地域防災企画室長
おだしまあやこ 小田島綾子氏		一般社団法人 日本損害保険代理業協会 会長
いしがみ 石神	かずよし 和美	株式会社 朝日新聞社CSR担当補佐兼 CSR推進部長
てらもと 寺本	ひろのぶ 弘伸	認定NPO法人 日本災害救援ボランティアネットワーク 常務理事
いずはら 伊豆原	たかし 孝	一般社団法人 日本損害保険協会 常務理事

# 審査基準および応募作品の傾向

## 審査基準

### 提案性(子どもの視点でのまちへの提案や、地域改善へ向けた気づき・提言)

- 子どもならではの発見やまちへの提言が書かれているか
- マップを通して伝えたいことが明確になっているか

### 教育効果性(子どもたちの防災・防犯・交通安全意識の変化、地域への愛着・関心の醸成)

- マップを作成するにあたり、しっかり地域を調べているか
- 地域住民とのコミュニケーションなどにより、多くの人から学んだ姿勢が見えるか

### 地域性・テーマ性(地域固有の災害特性や問題点、まちの様子や特徴)

- 地域の災害や危険な場所を想定した作品づくりができているか
- 地域災害の特性や問題点などが明確になっているか

### ビジュアル性(地図として見やすく、情報を簡潔に伝えるための工夫)

#### ※紙作品のみ

- 色や写真、イラストを効果的に使用しているか
- 多くの人に見やすく、分かりやすい作品になっているか

#### ※デジタルマップ(タブレット)作品のみ

- 単に安全・危険だけでなく、写真の場所を説明するコメント(高い塀がある、信号機がないなど)が記載されているか
- 実際に発見したものや場所を記載するだけでなく、コメント欄に発見したものや場所に対する子どもたちの感想や考えなどが一緒に記載されているか
- 指導者が子どもたちの言動や思いをしっかりと把握し、作品紹介用紙に記入しているか

## 提案性

- コロナ対策や大雨対策、外国人向けの情報発信など、それぞれの地域の特性を把握し、その特性に合わせて、子どもたちならではの視点で提案を行っている作品が多く見受けられた。
- 災害時を想定して、地域内のインフラ設備や交通設備等の修繕や

- 管理を提案している作品が多く見受けられた。
- ブロック塀や転落危険箇所、道路の段差などの危険箇所を指摘し、自治体などに改善を要望したことが分かる作品が多く見受けられた。

## 教育効果性

- 地域の方や、交番、消防署、市区町村の職員などにインタビューを行い、アドバイスを受けた内容を理解したうえで、マップの中で分かりやすく整理して伝えている作品が多くあった。
- 防災・防犯・交通安全についての新たな発見や意識の向上に繋がりが、参加した子どもたちが自発的に調べて考えるきっかけになったと感じる作品が多く見受けられた。

- AEDの設置場所や使い方を調べた作品が多く見受けられ、子ども自身が実際に使用してまとめた作品が見受けられた。
- QRコードで外部のデジタルツールを紹介するなど、マップづくりで習得したICTスキルを紙マップにも反映して見やすくまとめた作品が見受けられた。

## 地域性・テーマ性

### 【防災】

- 津波被害想定地域において、避難場所である高台までに必要な避難時間や海からの高さを調べ、マップ内で避難時の行動を伝えている作品が見受けられた。
- 土砂災害や洪水発生メカニズムを調べ、イラストや写真なども活用して自分たちが住んでいるまちの地形や成り立ちを理解している作品が見受けられた。

### 【防犯】

- 「い・か・の・お・す・し」(※)などの防犯標語を用いて、公園の茂みや車の陰などの地域内で死角となる場所や不審者の特徴な

- どを調査して、注意を喚起している作品が多く見受けられた。
- ※防犯標語「ついていかない」「車にのらない」「おおごえを出す」「すぐ逃げる」「大人の人にしらせる」のこと。

### 【交通安全】

- 地域の交通量を調査し、表やグラフも活用して表現することで、視覚的に伝える工夫がされている作品が見受けられた。
- 標識や自転車の利用ルールなどの身近な交通安全について丁寧に調べ、イラストや写真を活用して、分かりやすい説明をしている作品が見受けられた。

## ビジュアル性

- 調べたことをイラストやグラフなどを用い、色使いやレイアウトを工夫して添えることによって、視覚的に伝わりやすい工夫している作品が多く見受けられた。

- 「安全・危険」や「防災・防犯・交通安全」などを色分けするとともに、安全・危険な理由や対策が一目で伝わる作品が多く見受けられた。

## 審査総評



審査員長  
むろ さき よし てる  
**室崎 益輝** 氏  
神戸大学 名誉教授  
兵庫県立大学特任教授

今年もコロナ禍にあり、グループで屋外に出て、地域の多くの方々から話を聞くという行動そのものが難しい状況の中にもかかわらず、昨年を上回る数の作品の応募がありました。私が一番大切だと思うのは、マップを作る過程で6,000人を超える小学生の皆さんがこの取り組みに関わり、その中で多くのことを学んでいただいたことだと思います。

今年の特徴として、子どもだからこそ気づき、提案できることが数多く出てきています。大人が考えた従来の防災の盲点・問題点を子どもたちが問いただすことで、誰でも安心できる防災対策の道が見えてきているように思います。また、子どもたちが住んでいる地域に対する愛着や理解が作品から読み取れるほか、自分たちだけではなく、特に高齢者や身体が不自由な方の視点を踏まえ、危険な場所、安全な場所を見極めて、地域の人全員に提案をしていくという姿勢が作品に表れています。さらに、今までは危険な場所を探し出してその問題点を指摘するという作品が多かった中で、今回は安全のために作られた施設、設備、装置がどこにあるのかということに焦点を当てる作品も多くなりました。

年々子どもたちを中心に安全マップの取り組みは進化していると思っています。災害が激甚化していく中で、防災も進化しないといけない、ひいては、何よりも子どもたちが進化しないといけないと思っています。子どもたちの進化が、このぼうさい探検隊マップコンクールで感じることができるので、この取り組みはすばらしいものと感じています。

### ■ 文部科学大臣賞

福島県相馬市川原町児童センターみつばち防災探検隊の作品は、目の不自由な方が避難する際の問題点を、目の不自由な方に対するインタビューや自分たち自身がその人の立場に立って歩くことを通じて明らかにしています。また、目の不自由な方が直面する問題を市役所に行って行政の担当者にも聞くことで、様々な角度から問題点を探し出し、安心して避難できるようなまち作りについて提言しています。

### ■ 防災担当大臣賞

蓮田安心探検隊の作品は、蓮田市の洪水危険地域をハザードマップ等で調べ、浸水リスクごとにレベル分けを行って地図に表現しつつ、避難場所や経路を図示して避難時の問題を具体的に考えようとしています。そして、避難場所に指定されている小学校が浸水リスクの高い場所にあることを発見し、避難場所の変更を提言しています。

### ■ 消防庁長官賞

かわさき市民活動センター東小田小学校わくわくプラザの作品は、都市における火災対策、とりわけ地震のときに大きな火災が発生した場合の備えを考えたものです。まちに木造家屋が密集していることや幅の狭い道が多くて消防自動車が行き通れないこと、避難するときに障害になるような空間が多いことを調べ、その解決策を考えています。そして、地域の中に防災空地という火災を食い止めるものがあることを発見して、防災空地や緑地をしっかりと整備することが必要であると提案しています。

### ■ まちのぼうさいキッズ賞 (日本ユネスコ国内委員会会長賞)

北海道函館豊学校の作品は、避難訓練のときに川や交通量の多い道路を通ることの避難上の懸念を念頭に置きながら、近隣の避難所を比較してメリット、デメリットを確認し、避難にかかる時間に応じて避難先を考えるよう提案しています。また、避難の問題点を検討するうえで、

聾学校に通う子どもたちが行政にヒアリングを行っており、丁寧に調べ上げている点も評価できます。

### ■気象庁長官賞

愛媛県伊予市立佐礼谷小学校の作品は、地域における土砂災害のリスクをハザードマップなどでしっかり確認した上で、ホテルの里としてのすばらしさを念頭に置きながら、自然と防災をどう両立させるのかという考え方を持って取り組んでいます。加えて、マイ・タイムラインという、災害時に自分自身がとる防災行動を整理し、どのタイミングで避難を開始するのかということ、子どもたちが具体的に考えています。

### ■キッズリスクアドバイザー賞 (日本損害保険代理業協会賞)

みやだ探検隊の作品は、AEDや災害対応の自動販売機など、安全のための装置や仕組みについて丹念に調べています。また、子どもたちが日頃使うことのない公衆電話を実際に使用してみるという取り組みも行っています。危険な場所を探すという点に加えて、地域の安全がどのように保たれているかに焦点を当てています。

### ■未来へのまちづくり賞(朝日新聞社賞)

岩手県盛岡市立厨川小学校境田町子供会の作品は、犯罪をテーマに、子どもだからこそ分かる危険性、例えば、この路地は非常に狭い、あるいは暗い、人目につかないということについて、子どもの目線で問題点を指摘しています。どこが危険なところが一目で分かるようになっており、なぜ危険なのか、どうすればいいのか、という分析や提案を色彩的な工夫を行って、マップに分かりやすく表現しています。

### ■わがまち再発見賞 (日本災害救援ボランティアネットワーク賞)

レックス探検隊の作品は、祖父母の居住地周辺で地震が発生した場合を想定し、高齢者の目線で地域について調

べているほか、家屋内に潜む震災時の危険についてもチェックし、祖父母が安心して暮らせるようにしたいという思いが込められています。さらに、祖父母が避難するであろう学校の安全性もチェックしており、祖父母に対する思いやりが滲み出た作品です。

### ■ぼうさい探検隊賞(日本損害保険協会賞)

かほく市子ども会宇ノ気支部内日角子ども会の作品は、実際に交通事故が起きた場所に行き、「西日が当たってカーブミラーが見にくいため事故が起きた」、「死角があって前方が見えにくい」など、様々な角度から交通事故の原因を分析し、その原因の解決策を子どもたちの目線で考え、提案しています。

### ■審査員特別賞

審査員特別賞の8作品についても、入賞作品と甲乙つけがたいすばらしい作品です。過去の災害経験をいかに伝えていくかという視点、郷土の自然や動物、美しい景色をどのように残していくかという視点、交通事故や犯罪、洪水対策など色々な災害を総合的に見るような視点でまとめた作品がありました。いずれの作品もこれからの防災・防犯・交通安全にとって大切なテーマを取り上げたものとして評価しています。

### ■デジタルマップ特別賞

タブレットを使って簡単に自分たちのまちの危険性をチェックできる新しい取り組みとして、今年も多くのご応募をいただきました。デジタルマップ特別賞の5作品については、地域の安全な場所・危険な場所を丹念に精査し、それを写真に撮り、的確なコメントを付け加えています。そのことによって、地域の防災・防犯・交通安全上の問題点が明らかになっていると評価しています。



福島県

# 文部科学大臣賞

ふくしまけんそうましかわらまちじどう  
福島県相馬市川原町児童センター  
ぼうさいたんけんたい  
みつばち防災探検隊「みつばちぼうさい探検隊」

学年 3年生 人数 27人 交通安全



## 喜びの声 よろこびのこえ

### チームの 児童のみなさん

私たちの作ったマップが賞に選ばれたと聞いたときは、嬉しくてみんなで「やったー!」と拍手しました。これからこのマップをたくさんの人に見てもらいたいです。

### 指導された 藤巻 真理さん

このようなすばらしい賞をいただき大変感謝しております。探検中見つけた点字ブロックからたくさんの学びが広がりました。これからもどんな人にとってもやさしいまちづくりを目指し、子どもたちと一緒にこの活動を続けていきます。





## 審査員からのコメント

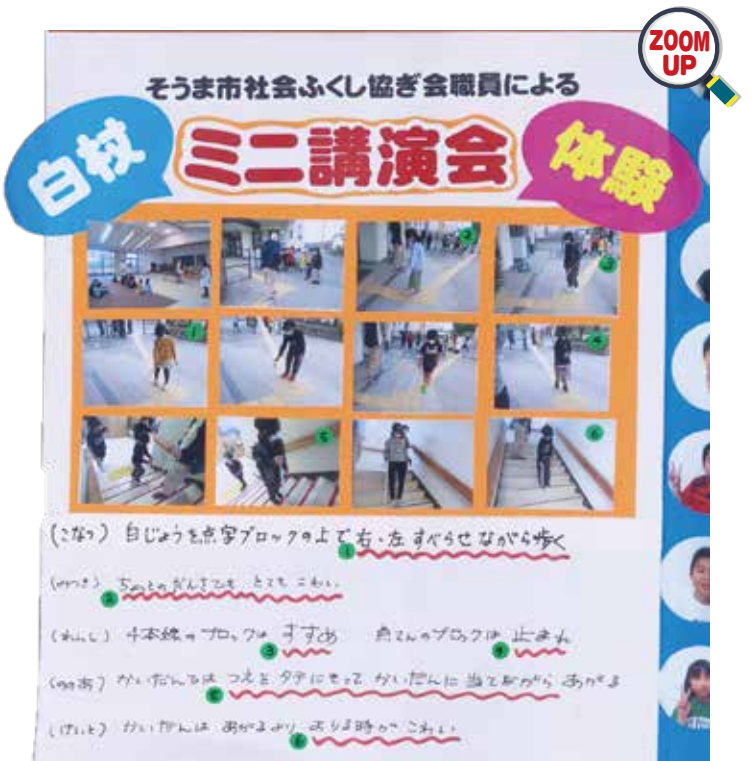
目の不自由な方が安全に生活できるよう、ノーマライゼーションの視点から安全マップづくりに取り組んだ点が大変すばらしい。マップ上には点字ブロックを立体的に表現するなど、危険箇所だけでなく安全面での設備についても着目され、工夫がなされている。また、視覚障害のある方にインタビューを行い、日常生活や盲導犬の役割について深く学び、提言に生かされている。駅前の音響信号の不具合に気づいたことで早期の修繕につながり、目の不自由な方がより安全に生活できるまちづくりに貢献している。

今後も福祉面からの視点を踏まえたまちづくりを、安全マップの作成を通じて地域の方々に広めていってほしい。



## その他の評価ポイント

- 白杖体験を実際に行い、目の不自由な方の立場でまち探検やマップ作成を行っている。
- マップの作成を機に、困っている方を見かけたときに声かけをするようにする、点字ブロックの上に物を置かないようにするなど、自分たちに出来ることまで考えられている。
- 色画用紙を使って立体的に円グラフを作成する、点字ブロックを粘土で表現して装飾するなどの工夫がみられる。





# ぼうさいたんとうだいじんしょう 防災担当大臣賞

埼玉県

はすだあんしんたんけんたい はすだあんしんたんけんたい  
蓮田安心探検隊「蓮田安心探検隊」

学年 4年生 人数 2人 防災



## 喜びの声 よろこびのこえ

### チームの 児童のみなさん

ぼうさいたんとうだいじんしょう えら  
防災担当大臣賞に選ばれたとき聞いてびっくりしました。僕たちが住む蓮田市について市役所の方や地域の方に話を聞いて詳しく調べることができました。2人で協力して完成できて、いい経験、思い出になりました。良かったです。

### 指導された 小野 衣通子 さん 蕪木 さやか さん

さいがい すく ちいき う  
災害の少ない地域に生まれ育った子どもたちの防災マップづくりは全てが手探りの作業でした。ご協力いただいた市役所や地域の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。一生の財産になるすばらしい賞をありがとうございました。

審査員からのコメント

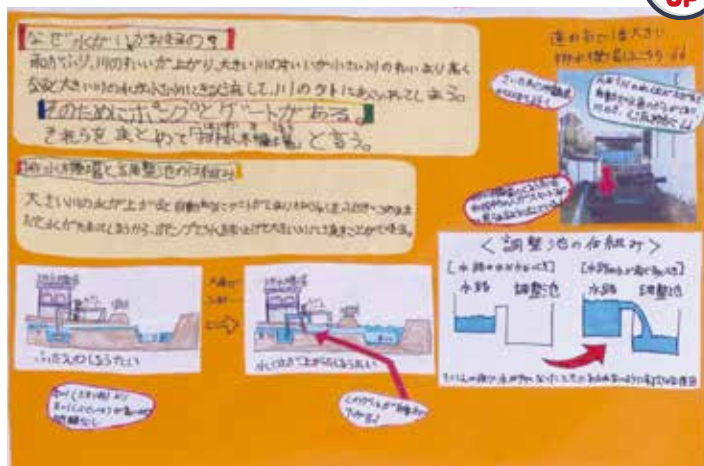
自分たちの通う小学校には水たまりが多く、洪水時には避難所として適さないこと、そしてまち全体が水害リスクの高い地域であること、そこに気づく力や、まちを探検するとともに発見した避難所と避難場所の違い、排水機場・調整池のしくみなど掘り下げてしっかりと学ぶ探求心、さらには、水害の危険性を市に提言し、地域防災計画の見直し検討の話まで繋げた実行力など、すばらしい取り組みが作品から伝わってきた。

今後、地域防災計画がどう変わっていくのかしっかりと確認し、災害時には一人でも多くの方が助かるよう、学校の仲間や家族、そして地域の方と防災についてたくさん話し合うとともに、これからも一生懸命、防災を学び続けていきたい。

その他の評価ポイント

- 水害リスクが高いという地域の特性を踏まえ、地域の方へのインタビューだけでなく、蓋がされていない側溝を発見するなど、熱心に調べており、避難するときの注意点や水害が起こる原因とその仕組みを調べてまとめている。
- 写真や絵を多数使い、同年代の子どもたちが見やすく意識して作成しているだけでなく、浸水リスクをレベルごとに色分けして表現することで、川沿いにおける水害の危険性が一目で分かるように工夫されている。

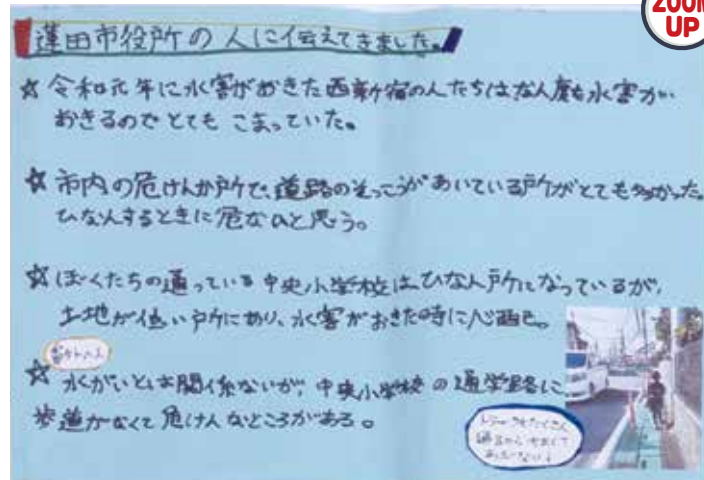
ZOOM UP



ZOOM UP



ZOOM UP





# しょうぼうちょうちょうかんしょう 消防庁長官賞

神奈川県

こうえきざいだんほうじん しみんかつどう  
公益財団法人かわさき市民活動センター  
ひがしおだしょうがっこう  
東小田小学校わくわくプラザ  
ひがしおだしょうがっこう ちょうさたい  
「東小田小学校わくわく調査隊」

学年 2年生、3年生 人数 14人

防災



## 喜びの声 よろこびのこえ

### チームの 児童のみなさん

かんせい たいへん  
完成まで大変だったけれど、  
おお しょうと  
大きな賞が取れてうれしいで  
す。マップづくりを通して、家  
ぞく ぼうさい はな かい  
族と防災について話す機会が  
ふ  
増えました。これからも自分  
たちで出来ることを見つけて  
いきたいです。

### 指導された 富澤 規子 さん

なが じかん とく  
長い時間をかけて取り組んで  
きたことが、おお せい 果  
大きな成果に繋  
がったということは子どもた  
ちにとって、とてもおお ちから  
大きな力  
となりました。サポートいた  
だいた地域のおお かんしゃ  
皆さまには感謝  
の気持ちでいっぱいです。  
ありがとうございました。

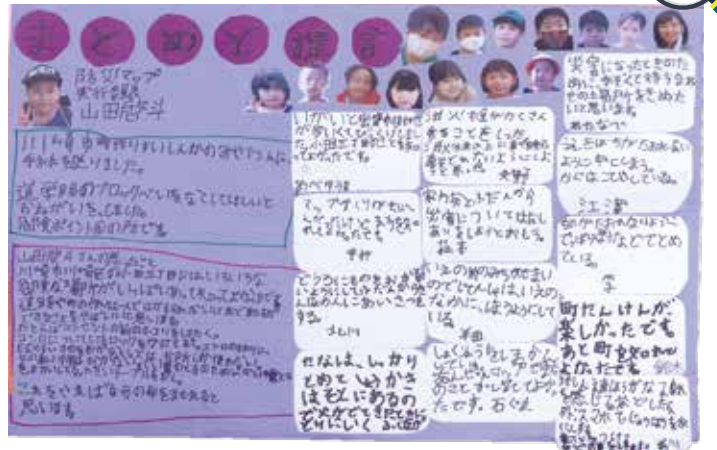
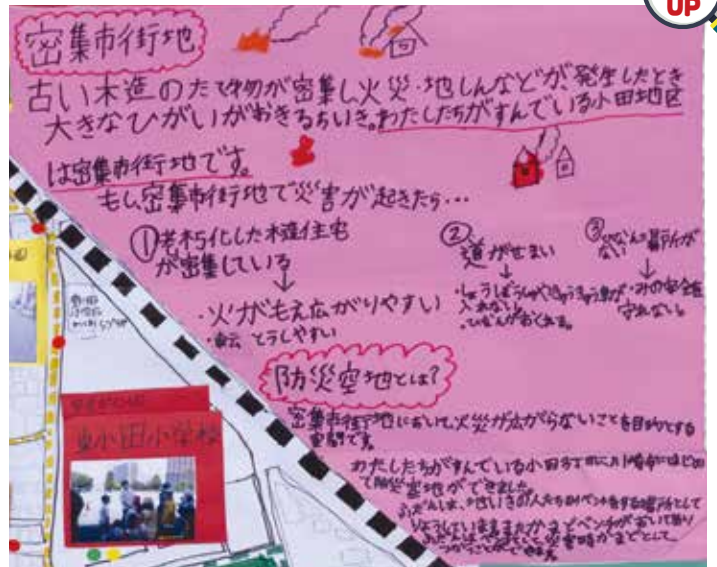
審査員からのコメント

居住地の防災空地に対する疑問をきっかけに「燃え広がらない町へ」をテーマとした地域調べが始まり、密集市街地における火災の危険性をはじめ、通学路にあるブロック塀倒壊による道路閉塞の危険性、そして消火活動に必要な消火栓や防火水槽といった消防水利だけでなく、消防車が通れない狭い道なども、子どもたちの目線でしっかりと調べられており、災害発生時の被害軽減につながる作品と評価し、消防庁長官賞に選定した。

今回のぼうさい探検隊としての活動を通じて学んだことを大切にするとともに、家族や友達、そして近所の方々にも伝えるなど、今後も引き続き安全で安心なまちづくりに取り組んでいきたい。

その他の評価ポイント

- 自治体に対して「通学路にあるブロック塀をなくして欲しい」と要望提言しており、自分たちのまちを良くしようという姿勢が伝わる。
- 木造住宅や空き家が多いという地域の特徴を踏まえ、密集市街地で災害が起きた時の危険性だけでなく、火災を起こさないために日頃からできることも調べてまとめている。
- 防災教室の開催や地域の防災センターでの地震体験を通して学んだことを分かりやすくまとめているほか、道路の狭さや、住宅の密集具合が視覚的にも分かるよう地図に表現している。





# まちのぼうさいキッズ賞しょう

にほん こくない いしんかいかいちょうしょう  
(日本ユネスコ国内委員会会長賞)

北海道

ほっかいどうはこだてろうがっこう はころう ねんせい  
北海道函館聾学校「函聾5年生」

学年 5年生 人数 2人 防災



喜びの声 よういらいん

## チームの児童のみなさんじどう

初めての挑戦で入賞できてうれしいです。このマップを作ったことによって、自分たちの学校がある地域についてくわしく分かりました。このマップが地域の方の命を守ることに繋がってほしいです。

## 指導された宮野健さんしどう

息子・娘のように可愛がっている子どもたちが、「初めての、2人だけの挑戦」にくじけそうになることもありましたが、周囲の支えをいただき大きく成長することができました。担任として心からの賛辞をおく送りたいです。

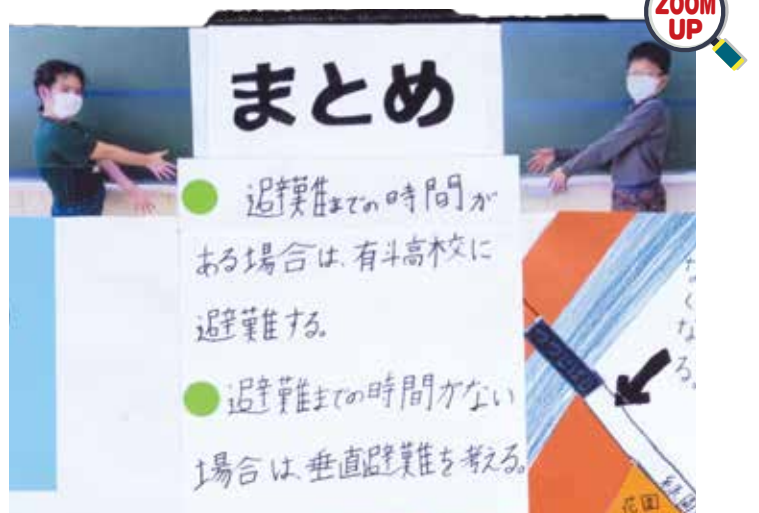
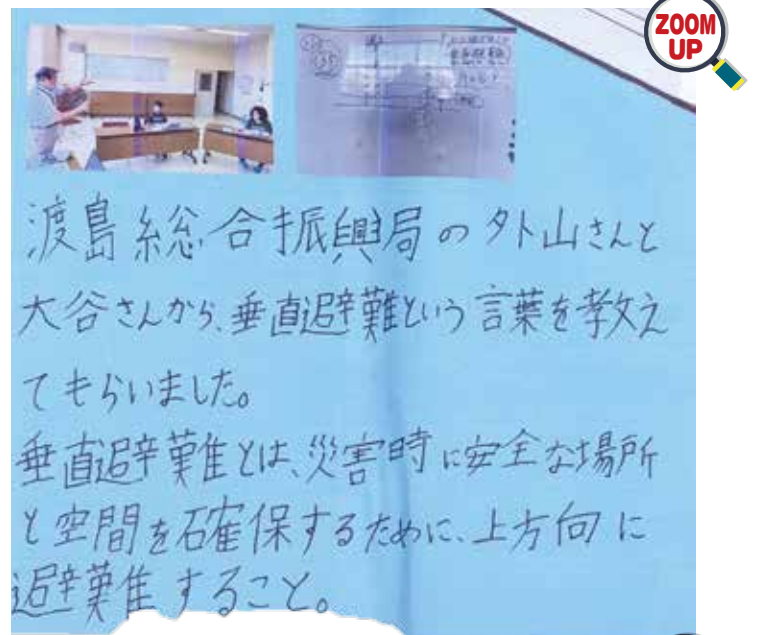
## 審査員からのコメント

学校の合同避難訓練で川を横断して避難することに疑問を抱き、より最適な避難先を探すため、実際に3つの学校に避難してみた際の移動時間、海拔や学校の施設も確認したうえで、メリットおよびデメリットをしっかりと整理している。渡島総合振興局での説明も取り入れ、避難するまでの時間に余裕があるときは、近くの高校に避難し、時間がないときは、垂直避難を考えることを提案している。また、地域の方と交流しながら、じっくりまち歩きをして作成された地図から、地域への関心と理解を深めたことがよく伝わってくる。

今後、今回作成した避難マップを、合同避難訓練に参加している他の学校園にも紹介し、地域の皆と一緒に、更なる防災力の向上に役立てていただきたい。

## その他の評価ポイント

- マップづくりのきっかけになった疑問に対する考察を「まとめ」として2点に絞って簡潔にまとめており、深く学習していることがうかがえる。
- カラーの紐を使って、3つの避難ルートをはっきりやすく示しているほか、施設や場所ごとの安全性・危険性について色分けしてコメントすることで、見やすくなるよう工夫している。





# 気象庁長官賞

愛媛県

えひめけん いよ しりつ されだにしょうがっこう  
愛媛県伊予市立佐礼谷小学校  
されだにしょうがっこう まも たい  
「佐礼谷小学校ほたる守り隊」

学年 5年生、6年生 人数 4人 防災



喜びの声 よろこぶのこゑ

## チームの児童のみなさん

みんなで協力して作ったので受賞を聞いてうれしいです。フィールドワークをして、佐礼谷の危険な所や看板、避難所などについて知ることができました。地域の人の防災意識が高まるように一生懸命作りました。

## 指導された二宮 裕美さん

素晴らしい賞をいただき、ありがとうございました。子どもたちは、活動を通して佐礼谷地域の良さや課題に気づき、自分たちにできることを考えたり、地域を守ろうとする意識を高めたりすることができました。



## 審査員からのコメント

土石流・急傾斜地崩壊の危険区域や砂防ダムをはじめ、ほとると共存するための川の工夫についても丁寧に調べていて、それをもとに防災倉庫の管理方法や大雨の際の避難に関する提案がしっかりなされている。また、「佐礼」の言葉には崖崩れが多いところという由来があることを調べ、台風接近時の「マイ・タイムライン」を家族と作成したことは、災害が多い地域に暮らす全国の子どもたちの模範である。根気強く調べたことがマップに見やすいレイアウトで配置、分かりやすく記載されていて、大変すばらしい出来映えとなっている。

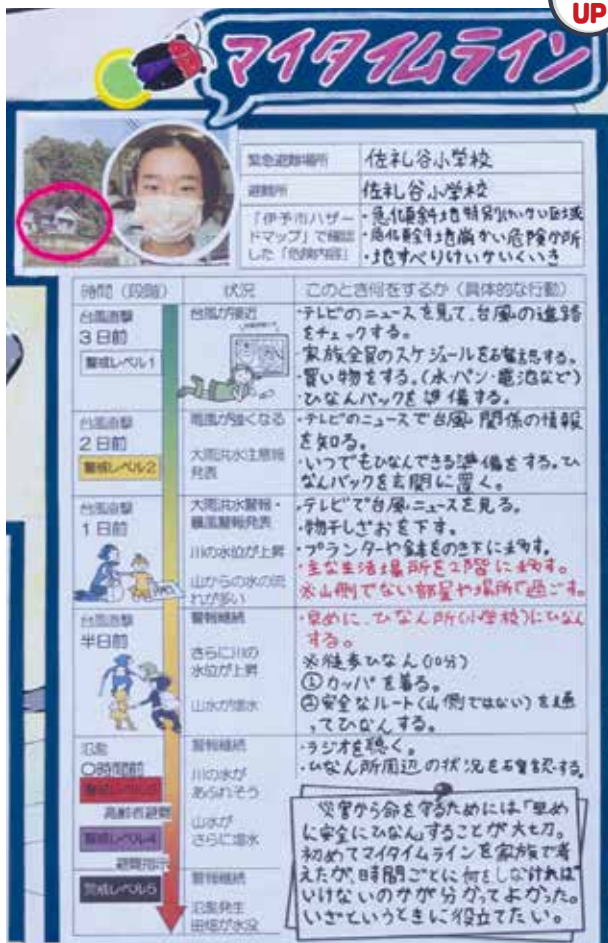
このマップを佐礼谷の皆さんへ共有して、人々の命とほとるとを一緒に守る取組みを地域の皆さんで続けられることを期待している。

## その他の評価ポイント

- ホタルの生息環境を守ること、土砂災害から命を守ることを両方の視点から自然環境保護と防災を両立させた提案がなされており、ホタルの保護に関する項目や注目してほしい項目などにホタルのシールを貼るといった工夫をこらしている。
- 土砂災害警戒区域は、土砂災害の種類別に透明なシートを利用して重ねるハザードマップを作成し、災害の危険性を分かりやすく示している。
- 水害・土砂災害にかかる避難情報で、警戒レベル4（避難指示）が発令されたときの避難所が住民全員を収容できない可能性があることに着目し、他に利用できそうな避難場所を提案している。



ZOOM UP



ZOOM UP



ZOOM UP





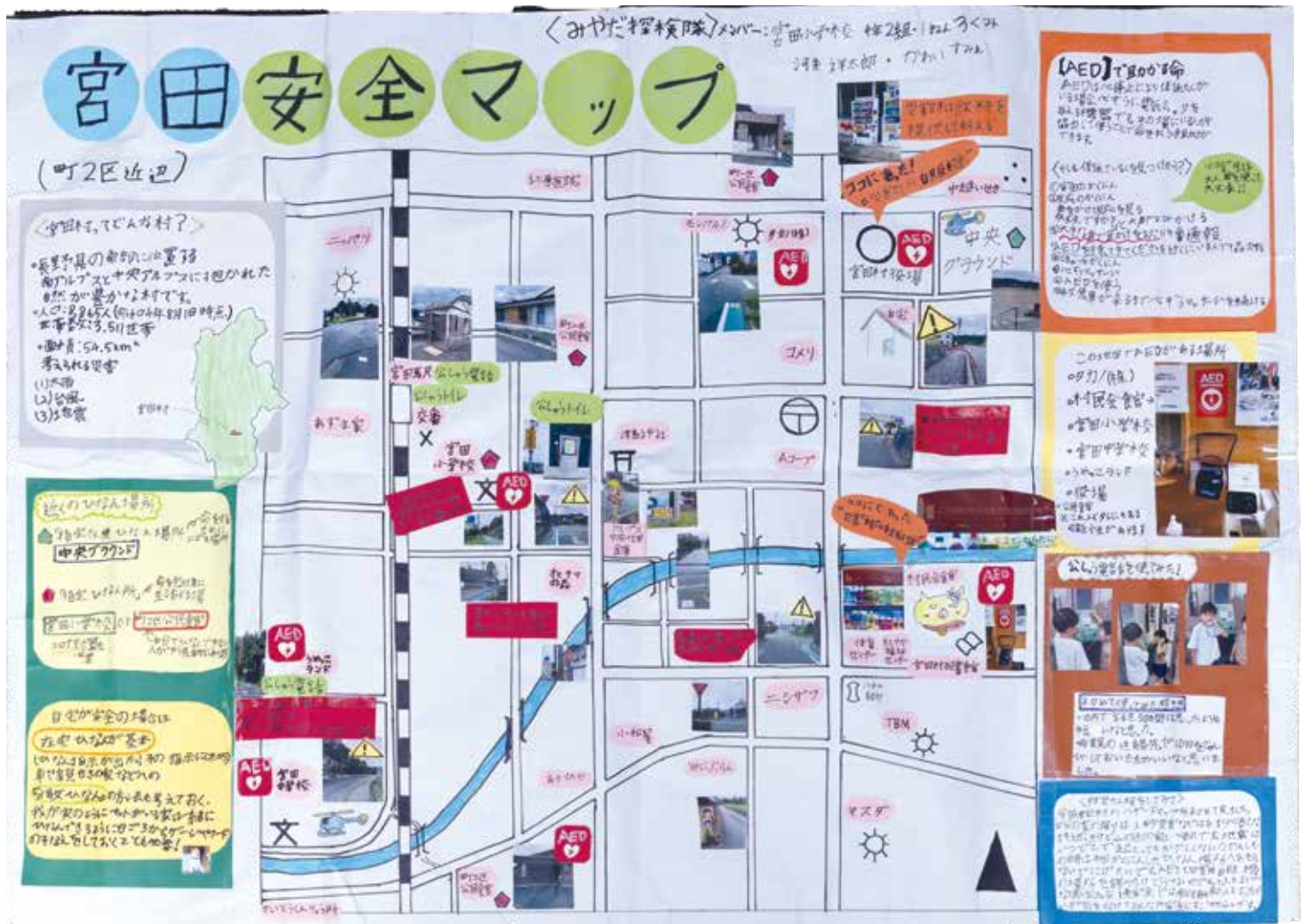
# キッズリスクアドバイザー賞

にほんそんがいほけんだいいりぎょうきょうかいしょう  
(日本損害保険代理業協会賞)

長野県

## みやだ探検隊「宮田探検隊」

学年 1年生、4年生 人数 2人 防災・交通安全



喜びの声 よろこびのこゝろ

### チームの児童のみなさん

入選の連絡を聞いたときはびっくりしましたが、がんばって作ったのでとてもうれしいです。これをきっかけにAEDの場所をみんなが知ってくれるといいなと思いました。AEDや災害用自動販売機の数も増えたら安心です。

### 指導された河井聡さん

エリアを決める際、自分たちで歩いて行けるところを調べてみることにしました。フィールドワークすることで気づきや発見がたくさんありました。初めての挑戦でしたが、兄妹二人で協力して制作できました。

審査員からのコメント

自然災害が少ない地域だとの認識がある中、日常生活で応急対応に活用されるAEDの設置場所や災害発生時にも活用できる災害対応用自販機の設置場所を調べることで、地域に応じた課題を洗い出し、提案につなげている作品である。

また、今では使用する頻度が低くなっている公衆電話(災害時の有効な通信手段)を実際に使ってみるなど、自分たちの地域を防災まち歩きすることにより、防災・交通安全に対する意識が高くなったと思うので、作成したマップを町内で活用して防災・交通安全に貢献していただきたい。

その他の評価ポイント

危険な場所を探すだけでなく、安全な場所や安全に寄与する装置などに焦点を当て、AEDや災害対応自販機の位置を調べて地図上に記している。加えて、AEDの利用方法や手順をまとめることで応急対応に繋がられるようにしている。

指定緊急避難場所と指定避難場所の違いや在宅避難について調べているほか、ペットを飼っている家庭における備えの必要性について発信している。

Handwritten poster titled "[AED]で助かる命" (Life saved by AED). It explains that AED is used for heart stops and provides a list of safety locations: ① Safety (安全) ② Evacuation route (脱出経路) ③ Loud voice (大声) ④ Large signs (大きな看板). It also includes a photo of a child using a public phone.

Handwritten poster titled "この地域でAEDがある場所" (AED locations in this area). It lists locations like Otakeya, Otake JCC, Otake Elementary, Otake Middle, Otake Plaza, and Otake Station, with photos of AED units.

Handwritten poster titled "公衆電話を使ってみました!" (I tried using a public phone!). It includes photos of children using a public phone and a testimonial about the 10-minute call limit.

Handwritten poster titled "防災あんぱんを作ってみました" (I made disaster bread!). It describes how they made disaster bread for a school event and distributed it to families.

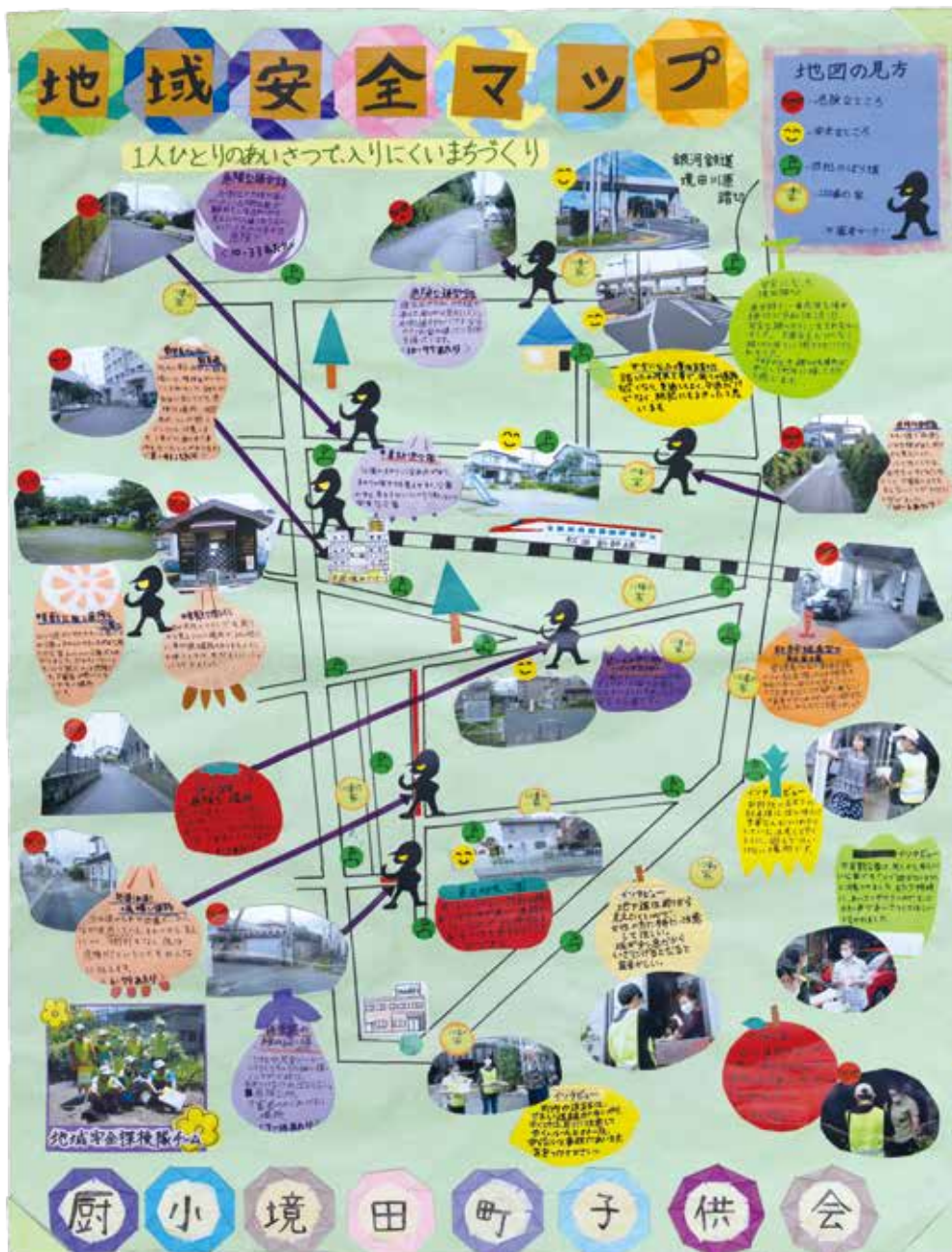


みらい しょう  
**未来へのまちづくり賞**  
あさひしんぶんしゃしょう  
**(朝日新聞社賞)**

**岩手県**

いわてけんもりおかしりつくりやがわしょうがっこう  
**岩手県盛岡市立厨川小学校**  
さかいだちょうこどもかい さかいだちょうこ かい  
**境田町子供会「境田町子ども会」**

学年 6年生 人数 8人 防犯



**喜びの声** よろこびのこえ

**チームの  
 児童のみなさん**

- ・身近な地域の危険な場所・安全な場所が良く分かりました。
- ・日頃通っている所でも危険な場所があることが分かりました。
- ・まちなか探検で危険な場所・安全な場所が分かりマップを作成できました。
- ・管理者のいない駐車場が危険な場所というのが分かりました。

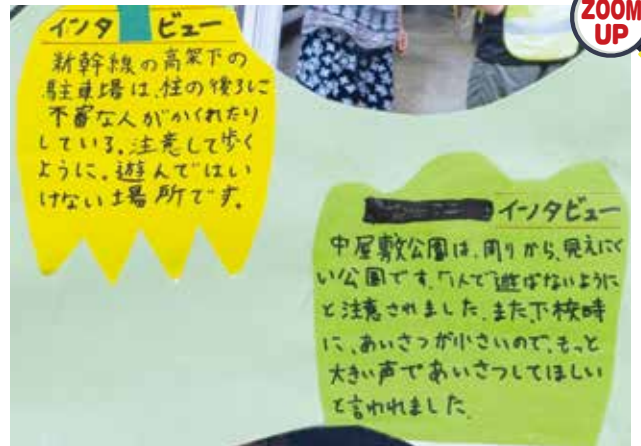
**指導された  
 照井 光昭 さん**

- ・参加された子どもたちは、楽しんでマップを作成しておりました。
- ・マップに書き入れる事柄についても話しあって決めておりました。
- ・マップ作成の話が主体ではありませんが特に子どもたちに話をしたのは「でかけるとき」の4つのやくそくについて具体的に教えました。

## 審査員からのコメント

大きな地図に写真やコメント、イラストをバランスよく配置して、地域の安全な場所、危険な場所や「110番の家」の位置などの情報が分かりやすくまとめられていた。管理者のいない駐車場、周りから見えにくい通学路や公園、街路灯のない道路など、町をくまなく歩いて集めた防犯上の「気づき」が満載のマップとなっている。地元の人にインタビューして集めた声をもとに、治安を良くするために「大きな声で挨拶する」という対策があることを指摘したのもすばらしかった。

マップづくりが、街路灯の新設など具体的な改善につながって良いものになったと思われる。これからも、境田町を「こんにちは」という元気な声がいっぱい響く地域にしていっていただきたい。



## その他の評価ポイント

- アパートが多く、昼間は人の目が少なくなるといふ地域の特徴を踏まえて危険な場所を調べており、安全な場所についても「なぜ安全なのか」まで調べてまとめている。
- 垣根が高く、人目につかなくなる箇所があることを調べ、土地の所有者に依頼して、見通しが良くなるよう垣根を低くしてもらおうというまち改善まで実現している。
- 「危険」、「安全」などによってカラーシールを使い分け、凡例を用いて見やすくなるよう工夫している。不審者をイメージしたキャラクターを描くことで、注意が必要な場所などを視覚的に分かりやすくまとめている。





さいはっけんしょう  
**わがまち再発見賞**  
にほんさいがいきゅうえん  
**(日本災害救援ボランティアネットワーク賞)**  
しょう

滋賀県

たんけんたい  
**レックス探検隊「とあみり」**

学年 4年生、6年生 人数 2人 防災



喜びの声  
よろこびのこゑ

じどう  
**チームの児童のみなさん**

いっしょうけんめいつく きゆうせん  
 一生懸命作ったので、入選してすごくうれしい  
 です。へや なか しゅうへん きけん  
 です。部屋の中とマンションと周辺の危険な  
 ところや安全なところを探検するのは、知らない  
 こと だらけで おもしろ  
 事だらけで面白かったです。

じどう  
**指導された 戸村 翔さん**

きょうりょくいただ もりやま やくしよ こなんこういきしょうぼうまくきたしょう  
 ご協力頂いた守山市役所、湖南広域消防局北消  
 ほうしよ もりやま しちかいちようさまありかと  
 防署、レックスガーデン守山の自治会長様有難  
 うございました。子どもたち自身「何がどう危険  
 か」「何のためにあるか」等、気づきを得られ、す  
 ごく良い経験になりました。

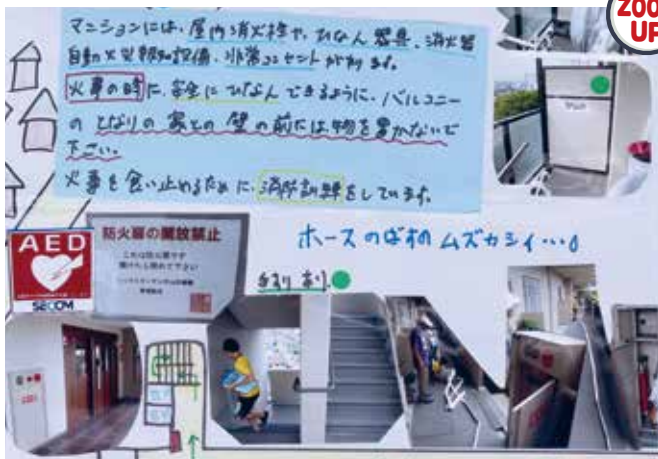
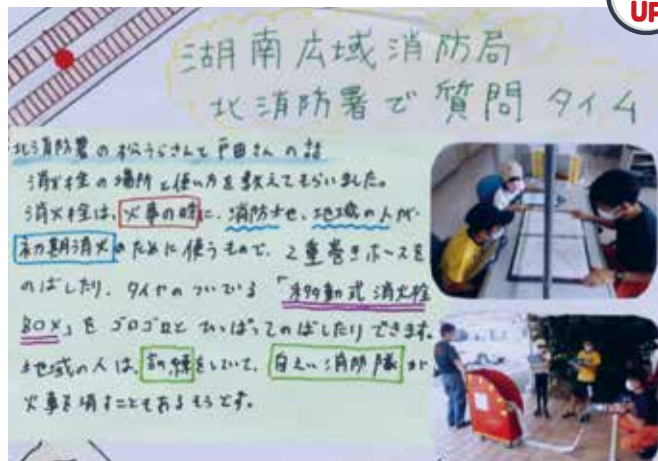
### 審査員からのコメント

自分の祖父母という身近な人を対象に防災マップ作成に取りかかった点が、これまでにあまりない視点である。災害で被害に遭われる方の多くは高齢者世帯だというデータもある。高齢者の命を守ることは、災害で誰一人取り残さないということにもつながる。台風や大雨に備えて事前に避難計画を考えておく「マイタイムライン」というものがあるが、レックス探検隊の今回の取り組みは「マイハザードマップ」と位置づけられるのではないかと思う。

災害が起ってから後悔しないように、今回の事例をまわりのお友達や大人にも知っていただいて、今後は地域全体での取組みに広がっていくことを期待している。

### その他の評価ポイント

- 市役所や地域の方々にインタビューを行うなどして地域の防災施設を調べるだけでなく、消火栓地図を持参して消火栓の設置場所を実際に確認したことで、本来あるべき消火栓がなくなっていることを発見し、消防署への提言をおこなっている。
- 祖父母の暮らす居室内の震災対策を確認するなど、安全を願う思いが伝わり、災害発生時におけるマンションならではの特徴や対応について理解を深めたことがうかがえる。





# ぼうさい探検隊賞

にほんそんがいほけんきょうかいしょう  
(日本損害保険協会賞)

石川県

かほく<sup>し</sup>市<sup>こ</sup>子ども会 宇ノ気支部 内日角<sup>かい</sup>子ども会  
『STOP! アクシデント』キッズ

学年 6年生

人数 15人

交通安全



## チームの児童のみなさん

6年生全員で協力して作った作品がこんな凄い賞をもらえてうれしいです！大変なこともあったけど、マップが出来上がっていく様子を見るのが楽しみでした。完成したときの達成感たっせいかんは小学校最後の夏しょうがっこうさいごなつのとても良い思い出です。

## 指導された松本 亜紀子 さん

町内を歩き回って調べている内に、危険な場所がたくさんあると気付きました。地区の方に分かりやすく伝えるマップを作りたい！と色々な案を出し合い頑張った子どもたち。その思いが形となり、賞まで頂けた事に感謝致します。



## 審査員からのコメント

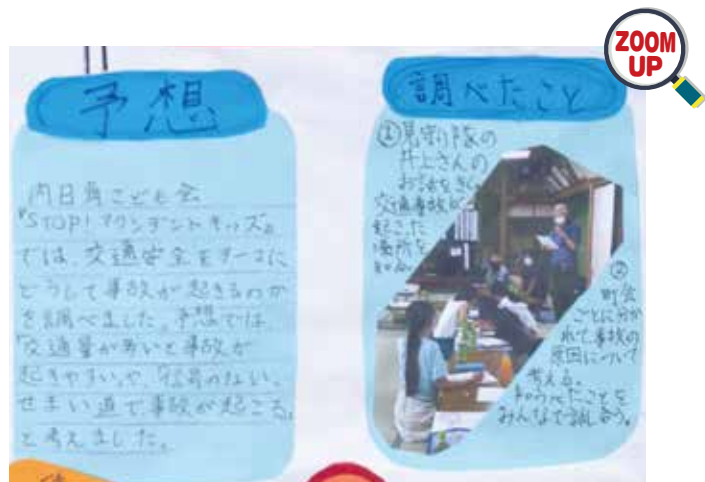
子どもの目線で身近なリスクである交通事故にフォーカスし、児童自ら「どうして交通事故が起こるのか？」という問いに対して仮説を立てている。そのうえで、地域の見守り隊へのインタビューや自ら危険なポイントを観察して危険な原因を調査・検証し、仮説の検証を行っている。また、地図上に危険なポイントを明示したうえで危険と感じた具体的な理由を簡潔にまとめている。最終的に具体的な改善提言に繋がっているところが上級生らしくすばらしい。マップも見やすく、多くの気づきが得られる点が印象に残った。

ぜひこの経験を活かし、観察力を高めてこれからも町の改善提案につなげていただきたい。

## その他の評価ポイント

●過去に事故が発生した場所だけでなく、事故発生条件が似ている場所についても調査し、消えかかっている白線や西日などによって見えにくくなるカーブミラーがある場所を調べ、まちの改善につなげようとしている。

●町会ごとに色分けし、どのような点に気を付ければ安全なのかを端的にまとめ、地域の特性が分かりやすいようにしているほか、地図は中央に置き、写真の撮影場所を番号でリンクさせることで、マップを見やすくする工夫がなされている。



北海道

学年 3年生、4年生

人数 6人

防災

北海道奥尻町立青苗小学校「青苗小3・4年ぼうさいキッズ」



喜びの声 よろこびのこえ

チームの児童のみなさん

受賞できてとても嬉しいです。高齢者になりきり、避難時間を測ったり、避難路の改善点などを調査したりすることで、新しい発見をすることができました。これからも、もしもの時を意識して自分の命を守るようにしたいです。

指導された松原 知未さん

北海道南西沖地震から29年。いつも身近にある避難経路を高齢者の視点から調査し、マップにまとめました。このマップづくりを通して、日ごろから「もしもの時」を意識して、どのように避難したらよいか学び合うことができました。

評価されたポイント

- 子どもたちが生まれる前の1993年に発生した北海道南西沖地震について、しっかり調べて学んでいる。津波からの避難および避難路の安全性の確認という目標を掲げてまち歩きを実施し、作成されたマップからは、子どもたちが深く学習した高い教育効果がうかがえる。
- 標高によって色分けされており、どこまでが危険で、どこまで避難すれば安全かがよく分かるように工夫されている。また、避難経路の紹介と注意点や改善点などのコメントをそれぞれ記すことで、分かりやすく仕上がっている。

宮城県

学年 4年生

人数 18人

防災

宮城県石巻市立北上小学校「北上小学校4年生(現5年生)」



評価されたポイント

- 調べや考察を通して他者へ提言するだけではなく、災害伝承などの自分たちができることを自分たちの使命としてしっかりと掲げている。
- 明治三陸地震以降の津波の歴史に着眼し、調べ学習ができています。学校周辺の施設を見学し、地域の方々インタビューを行うことで、津波に対する備えや北上町の山や海の豊かさを学習し、子どもたちが北上町の未来を、希望とともに担っていく決意がマップからうかがえる。
- 標高で色を変えた等高線で土地の高低差を可視化しており、地形分布が分かりやすい地図になっている。

喜びの声 よろこびのこえ

チームの児童のみなさん

北上小学校のシンボルの花「はまぎく」をタイトルに付けました。はまぎくの花言葉は「逆境に立ち向かう」です。今は、震災のことを教えてもらう立場ですが、これからは教える立場に成長していきたいと思っています。

指導された井上 雄大さん

「子どもの意識が変われば大人が変わる」の思いを込めて防災学習に取り組んでいます。北上地区の復興に重点を置き、未来につなぐ思いを込めたマップが完成しました。

神奈川県

学年 3年生、4年生

人数 4人

防犯

公益財団法人かわさき市民活動センター宮崎こども文化センター  
「宮崎こ文パトロール隊」



評価されたポイント

- 「子ども110番の家」の標識が薄くなって読みにくいことに気づき、標識の取り換えを要望するなど、まち歩きを通じて確認した内容が地域を守るための提案に繋がるマップとなっている。
- こども文化センター周辺の交通安全について、坂が急であることや、車の往来状況や見通しなどを踏まえ、安全上の問題点を写真や色使いを工夫して説明しており、深く学習していることがマップからうかがえる。
- 大きく地図を配置し、赤・青・黄色の3色を用いて地域の課題を分かりやすく表現している。

喜びの声 よろこびのこえ

チームの児童のみなさん

- 入賞とてもうれしいです。これからも安全に気をつけて行動していきたいと思います。ありがとうございます。
- 入賞できるとはおもっていませんでした。みんなで喜びました。

指導された 仲村 敦子 さん

まち探検や防災マップづくりを通して、地域とのつながりを再認識できとても意義のある活動となりました。これからも子どもたちと地域の安全について意識し取り組んでいきたいとおもいます。素晴らしい賞をありがとうございました。今後の励みとさせていただきます。

愛媛県

学年 4～6年生

人数 4人

防災

愛媛県宇和島市立奥南小学校「たんけん隊(船間、楠ヶ浦、大良)」

(セロファンなし)



喜びの声 よろこびのこえ

チームの児童のみなさん

チームみんなで作り上げた防災マップが、審査員特別賞に選ばれてとてもうれしいです。このマップを地震が発生した時の安全な避難のために役立て、地域の方の誰一人の命も失うことがないようにしたいです。

指導された 松下 哲也 さん

審査員特別賞をいただくことができ大変光栄です。住民の命を守るために探検したリインタビューしたりと、マップを完成させるまで進んで取り組んでいました。チーム全員の努力の証です。ありがとうございました。

(セロファンあり)



評価されたポイント

- 防災倉庫が無い、ということを地域の課題として掲げているが、「無い」この問題は、詳細な調査に基づいて発見できるものであり、これまでの学習や活動の積み重ねが読み取れるマップになっている。
- 地図は手書きであるにもかかわらず、等高線や道路を記載して色も丁寧に塗られており、津波浸水区域を青色のセロファンで覆うことで、すべての住宅が津波被害にあうことを分かりやすく示している。また、津波が生じる際は、高台へ避難をするよう強いメッセージを発信している。



福岡県

学年 2年生、4年生、年少

人数 3人

防災・防犯・交通安全

筒井探検隊「筒井探検隊」



評価されたポイント

- 自分たちの住んでいる地域全体を、防災・防犯・交通安全の広い視点でくまなく探検し、マップ作成専用タブレットも活用しながら「安全」・「危険」ポイントを数多く発見している。
- 調査地点を5項目に絞って、マップはシンプルに表現している。セロファンを使用して高潮浸水想定区域を示し、凡例や写真と写真の撮影場所をリンクさせ、使う色を絞るなど、見入りが分かりやすいように工夫していることが読み取れる。

喜びの声 よろこびのこえ

チームの児童のみなさん

大好きな筒井小学校区の安全、危険、子ども110番の家、AEDの場所、高潮危険エリアを調査して、だれが見ても分かるようにまとめました。このマップが地域の人の役に立てたら嬉しいです。

指導された 桑原 真理子 さん

3姉弟で協力してAEDの有無をインタビューしたりと、去年よりも力を入れて調査していました。友達や地域の方に安全危険箇所を伝えるために、一生懸命マップを作成している姿はとても素敵でした。

沖縄県

学年 5年生、6年生

人数 6人

防災・交通安全

沖縄県石垣市立名蔵小学校「名蔵探検隊」



評価されたポイント

- 自然豊かな集落の名所も盛り込み、さとうきびの生育状況によって道路の見通しが異なることや、製糖工場の操業期間中は大型トラックに注意が必要なことなど、地域を丹念に調べて危険性を伝えている。また、国の天然記念物が多く生息し、野生動物との事故が多発している現状を踏まえて、交通安全を呼びかけている。
- 石垣島の全体図も載せて、名蔵の集落がどこに位置しているかが分かるようにしている。危険な場所、防災に関することなどを色分けし、工場や学校といったランドマークだけを大きく載せることで見やすく仕上げている。

喜びの声 よろこびのこえ

チームの児童のみなさん

名蔵の良い所を全部マップに載せました。私たちの住む名蔵の魅力を全国に広められて嬉しいです。実際に自分の足で歩き、新しい発見をしました。危険な場所や安全を守る設備を見つけて更に名蔵が好きになりました。

指導された 高木 理恵 さん

すばらしい賞を受賞することができとても光栄に思います。暑い中、学校の先生や各関係機関の皆さんと一緒に歩き、危険箇所だけでなく名所など名蔵の良いところを再発見することができました。子どもたちも大喜びです。

沖縄県

学年 3年生、4年生 人数 4人 防犯・交通安全

# 豊崎学童クラブ「toyosakiガールズ」



## 評価されたポイント

- まち歩きや警察署へのインタビューの結果をもとに、自分の身を守るために「私たちができること」としてまとめており、子どもから子どもへのメッセージ、ひいては子どもから地域の大人たちへのメッセージに繋がっている。
- 中央に地図を配置し、色分けや凡例などを作ることで見やすい工夫がなされている。また、中学年の視点でまちをじっくり歩き、交通安全や防犯学習を深めていることがうかがえる。

## 喜びの声 よろこびのこえ

### チームの児童のみなさん

特別賞を受賞し、みんなで大喜びしました。地域の安全、みんなの笑顔を守りたいという決意のもとマップづくりを行いました。地域への愛着、感謝の気持ちが深まり、地域との繋がりが強くなりました。ありがとうございました。

### 指導された 當路 祐恵さん

地域を歩き、検証し、みんなでアイデアをだして、まとめました。小さい子がみても分かるマップづくりを意識して取り組みました。あきらめそうにもなることもありましたが、たくさんの方のおかげで仕上げることができました。

沖縄県

学年 3年生、5年生 人数 5人 防犯

# 北山学童「手をつないですすめ隊」



## 評価されたポイント

- 観光客や移住者が増えているといった地域の変化に目を向け、子どもたちの視点で交通安全や防犯について呼び掛けている。
- 地図を中央に大きく配置し、周囲にアンケート、インタビューや提言などをバランスよく配置することで見やすくしているほか、地図記号の図案化や色使いの工夫をすることで、分かりやすいマップとなっている。

## 喜びの声 よろこびのこえ

### チームの児童のみなさん

アンケート内容や結果をまとめるのがとても大変で、現地調査でもインタビューで集落が薄暗く道に迷ったけど高齢者の方に多く助けられたので、楽しかったです。また魚の切り張りも大変だけど楽しかったです。

### 指導された 伊藤 康司さん

コロナに注意し5地区を調べ話して地域を決め、現地を3回歩き制作に着手。アンケートを討議し防犯に気配る箇所を発見し、夏休み返上で地図づくりが楽しめるように高学年を中心にかけた地図は笑顔があるマップでした。



# デジタルマップ特別賞



「デジタルマップ特別賞」とは

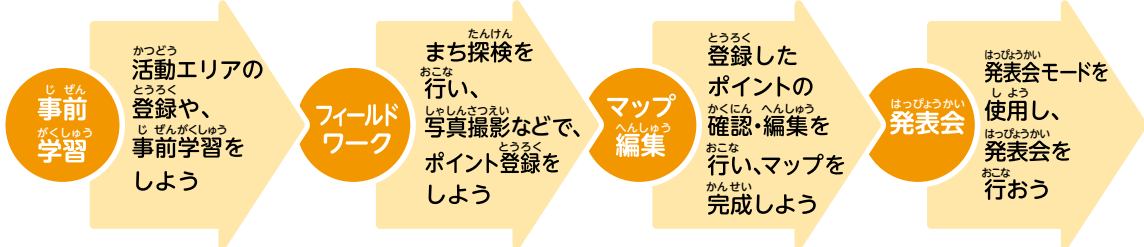
日本損害保険協会が無償で貸出している「まち探検アプリ」搭載のタブレット端末を、児童が使って探検・マップづくりした作品のなかから、審査によって選出した賞です。

「まち探検アプリ」とは

普段歩く通学路や避難場所への経路など、道路上の危険な所・安全な所を調べ、タブレットに写真やアイコンをワンタッチで登録できるほか、タブレットには「事前学習の手引き」が搭載されており、簡単に学習ができるようになっています。

## マップ作成手順

完成!!



茨城県

学年 2年生、6年生

人数 4人

交通安全

## 大野小学校 野木崎地区探検隊「野木崎地区探検隊」



### 評価されたポイント

- 実際に歩いてみて見通しが悪いことに気づき、カーブミラーの必要性を認識し、具体的な設置場所まで提言している。また、設置済のカーブミラーについても、冬場は曇って見辛いなど、調査時点とは異なる状況を想定した危険性についても考察されている。
- ガードレールがなく子どもたちのそばを車が通る様子を撮影するなど、通学路における危険箇所を、写真から分かりやすく伝えている。また、それぞれの調査地点で、「スピードを出す車が多い」など、具体的に危険と考えられるポイントを指摘できている。

### 喜びの声

#### チームの児童のみなさん

この作品を作っている時はみんなで楽しく私たちの地区のいろいろな場所に行き行って良い体験ができました。たくさん歩いて疲れたけど、良いものが出て来て来て受賞できたなんてとてもうれしいです。

#### 指導された 原田 宜男 さん

今回で3年目の応募になります。毎年一つの作品としての質が上がっていると感じていましたが、受賞まで出来るとは思っていませんでした。ものすごく嬉しく思います。

三重県

学年 2～6年生、年長、年中 人数 11人

防災

鳥羽市安楽島子ども会「安楽島キッズ探検隊」



評価されたポイント

- 安政地震の際の津波被害が探検場所でも発生していることを認識しており、地域の危険性について学びを深めていることがうかがえる。また、子どもたちが実際に高齢者を連れて模擬避難を行い、安全な避難方法についてアドバイスすることで、「災害弱者と言われる高齢者を助けるのは自分たちである」ということを自覚できている。
- 消火ホース格納庫の近くに消火栓がないことを問題点として、どうやって消火活動を行うのかといった点まで具体的に考え、問題点や解決策を提言できている。地域の防災対策の良い点、課題を考えていることが伝わる。

喜びの声 よろこびのこえ

チームの児童のみなさん

今年もデジタルマップ特別賞を受賞できてとてもうれしいです。お年寄りへの聞き取りでは、避難場所など普段から考えていて安心しました。店で買い物ゲームも一緒にしました。来年のぼうさい探検が楽しみです。

指導された 濱口 敬司 さん

お年寄りに聞き取りと一緒に歩くことで、災害弱者でもあるお年寄りを私たちが助けるとの思いが感じられました。今後も子どもたちと共に地域の防災意識を高めていけたらと思います。この度は、ありがとうございました。

山口県

学年 3年生、5年生 人数 2人

防災

大西キッズ「大西キッズ」



評価されたポイント

- 地域にある防災設備の役割や使い方、危険な場所ではどんな危険があるかを、子どもたちの視点で分かりやすく伝えているほか、公衆電話やAEDの設置目的や使用方法を深く学んでいることがマップからうかがえる。
- 災害時に役に立つものとして、特に消火栓に着目し、単に設置場所を調べるだけでなく、消火栓のホースの調達などについても調べており、災害時の状況を想定しながら探検できていることがマップからうかがえる。

喜びの声 よろこびのこえ

チームの児童のみなさん

受賞できてうれしいです。街の中には危険な所もあったけど、防災や安全のための工夫や対策が沢山あって「すごい」と思いました。色々な所を探検して楽しかったので、また来年も参加したいと思います。

指導された 大西 義紀 さん

子どもたちの学びの機会として気軽に参加したのですが、受賞という結果に驚いています。子どもたちも沢山歩き、普段気にしない事を意識して見ることで多くの発見や様々な事を知る機会になり、受賞も励みになりました。

高知県

学年 3年生、5年生 人数 2人 防災

高知県立高知ろう学校「高知ろう学校小学部」



喜びの声 よろこびのこえ

チームの児童のみなさん

入賞したなんて、信じられない気持ちですが、とても嬉しいです。初めは難しそうだなと思いましたが、やってみると楽しく作ることができました。災害時に命を守る設備、洪水を防ぐ施設を知られて良かったです。

指導された 藤代 晶子 さん

学校が浸水した時の写真を見て、災害は本当に起こるのだと実感した子どもたち。防災マップづくりを通して、命を守る様々な設備があることを知ることができました。この度は、素敵な賞をありがとうございました。

評価されたポイント

- 学校が過去に数回浸水した経験から、地域にある洪水を防ぐ設備や防災倉庫などの様々な防災施設や設備を他の児童たちにも知ってほしいとの願いが込められており、子どもたちの防災意識の向上に繋がったことがうかがえる。
- 校区が居住区とは異なる児童が多く在籍するケースが想定される場合、児童が学校周辺の地域に馴染み、安全に登下校するうえで有効な取組みであると考えられ、高い教育効果が得られたものと推察される。

沖縄県

学年 3年生、4年生 人数 4人 防災・防犯

沖縄県豊見城市なないろ児童クラブ「オーシャンスカイ探検隊」



評価されたポイント

- 地域にある海拔表示や避難経路の看板、こども110番の家、AEDの設置場所、さらに、地域ならではのハブの危険性など、身近に潜む地域特有の危険を捉えたマップになっており、災害時だけではなく、日々の注意点を確認していることがうかがえる。また、写真それぞれのコメントには、子どもたちが、なぜ安心、危険と感じたのかが分かりやすい言葉で伝えられている。

喜びの声 よろこびのこえ

チームの児童のみなさん

タブレットを使っの撮影・入力・録音は全部が初めてで大変だったけどとても楽しかったです。友達が写真を見ながら耳で聞いて分かりやすいように、安全と危険の伝え方をみんなで考えました。このマップがみんなの命を守ることに繋がってほしいです。

指導された 金城 有希 さん

地域の方々のご協力の中、子どもたちは多くの情報を学び防災の理解を深める事ができました。命を守る行動の仕方を考え、まとめ、伝える事でクラブ全体の防災意識の向上と学習意欲の高まりを感じました。子どもたちの頑張りが受賞という素晴らしい結果に繋がりが大変嬉しく思います。



# 応募状況

表中の青文字は、入賞9作品・審査員特別賞8作品・デジタルマップ特別賞5作品・佳作50作品のいずれかに該当する小学校・団体です。

都道府県	応募団体数	応募作品数	児童数	学校・団体名
北海道	22	59	220	ごりようかく探検隊/そこらへんの仮面ライダー隊/チームTYS/チームわか/ゆいと探検隊/ゆうへい探検隊/旭川とうこうたんけん隊/釧路キッズ探検隊/向陽台ぼうさいキッズ/札幌厚別区少年消防クラブ協議会/小田原キッズ/西帯探検隊/池田キッズ/東光探検隊/浜分探検隊/北海道奥尻町立青苗小学校/北海道厚岸町立厚岸小学校/北海道根室市立花咲港小学校3・4年生/北海道札幌市立二条小学校/北海道札幌南区川沿少年消防クラブ/北海道苫小牧市立苫小牧西小学校/北海道函館聳学校
秋田	3	3	13	なかよし探検隊/小山さんち/扇田チーム
青森	5	35	187	青森県むつ市立大畑小学校/青森県八戸市立根城小学校/青森県八戸市立田面木小学校/青森県八戸市立豊崎小学校/青森県八戸市立明治小学校
岩手	6	12	49	SANA/伊藤兄妹/岩手県宮古市立鉾ヶ崎小学校/岩手県盛岡市立厨川小学校 境田町子供会/紫波町立日詰こどもの家/川口探検隊
宮城	12	38	289	あきかけゆう/あちゃびキッズ/かむりがわ探検隊/なかよし探検隊/岩切児童館/宮城県女川町立女川小学校/宮城県石巻市立大谷地小学校/宮城県石巻市立北上小学校/宮城県石巻市立万石浦小学校/宮城県仙台市立金剛沢小学校/宮城県仙台市立郡山小学校/仙台市大野田児童館
山形	5	9	31	キキキキキッズ/はるりこ探検隊/よこやま探検隊/リスクハンターズ/山形県酒田市立八幡小学校 なかよし学年
福島	7	7	68	peach探検隊/かんのキッズ/鎌田/星探検隊/相馬市立大野小学校放課後児童クラブ たんぼクラブ/相馬市立中村第二小学校 放課後児童クラブ かもめクラブ/福島県相馬市川原町児童センター みつばち防災探検隊
茨城	6	6	81	Kids Creation Afterschool/せんばキッズ/ボーイスカウトつくば第3団 ビーバースカウト隊/やちよエコクラブ/見川探検隊/大野小学校 野木崎地区探検隊
栃木	3	3	11	すずめのみや探検隊/スマイルキッズ/大田山地区 育成会
群馬	4	9	50	群馬県富岡市立一ノ宮小学校/今里兄弟/中之条町探検隊/緑町探検隊
埼玉	10	43	170	ガールスカウト埼玉県第20団/チームユナノエ/つかごし隊/ボーイスカウトさいたま104団カブ隊/レジアスキッズ/穴澤/埼玉県伊奈町立南小学校/埼玉県熊谷市立奈良小学校/北本探検隊/蓮田安心探検隊
千葉	15	101	450	千葉県館山市立豊房小学校/ボーイスカウト佐倉第3団ビーバースカウト隊/鎌ヶ谷子ども会育成会連絡協議会/千葉県旭市立干潟小学校/千葉県我孫子市立高野山小学校/千葉県鴨川市立田原小学校第4学年/千葉県山武市立大富小学校/千葉県長生郡長生村立一松小学校/千葉県長生郡長生村立一松小学校 防災クラブ/千葉県長生村立八積小学校第3学年/千葉県睦沢町睦沢小学校/千葉県茂原市立中の島小学校/千葉県茂原市立東部小学校/飯島ボーイズ/北部探検隊
東京	28	159	790	いとことその他探検隊/かなまちたんけんたい/かなまち探検隊/東京都清瀬市立清瀬第六小学校/はむら富士見小キッズ/ミラキュラス探検隊/家族 DE探検隊 高橋家/京橋消防少年団/港区立赤坂子ども中高生プラザ/砂町キッズヒーロー/台東区社会福祉事業団 今戸児童館/台東区立池之端児童館/東京都江戸川区立鎌田小学校/東京都江戸川区立新堀小学校/東京都足立区立西新井小学校/東京都中野区立桃園第二小学校/東京都日野市立日野第六小学校/東京都板橋区立下赤塚小学校/東京都板橋区立高島第五小学校/東京都目黒区立碑小学校/東京都練馬区立南田中小学校/藤田組グループ/日野消防少年団/布田6丁目探検隊/福生市立福生第7小学校 PTAおやじの会/北多摩西部消防少年団/矢西小学校通学路探検隊/真空拳キッズ
神奈川	20	36	195	公益財団法人藤沢市みらい創造財団 辻堂青少年会館/あおば探検隊/ガールスカウト神奈川県第53団/神奈川県横浜市立菊名小学校/ふたばっ子/金田探検隊/公益財団法人かわさき市民活動センター 向丘小学校わくわくプラザ/公益財団法人かわさき市民活動センター 鷺沼小学校わくわくプラザ/公益財団法人かわさき市民活動センター 三田こども文化センター/公益財団法人かわさき市民活動センター 東小田小学校わくわくプラザ/公益財団法人かわさき市民活動センター 二子こども文化センター/公益財団法人かわさき市民活動センター 平こども文化センター/公益財団法人かわさき市民活動センター 野川こども文化センター/公益財団法人かわさき市民活動センター 宮崎こども文化センター/深沢キッズ/真福寺小学校わくわくプラザ/西菅小学校わくわくプラザ/川崎市立宮崎小学校わくわくプラザ/川崎市榎形こども文化センター/百合丘こども文化センター
新潟	7	9	33	のだっこ探検隊/坂井なかよし結友キッズ/坂井輪中学校区青少年育成協議会/新潟県魚沼市立宇賀地小学校/真砂キッズ/真砂ちいきたんけんたい/進め!!ニコココ探検隊!!

# 応募状況

表中の青文字は、入賞9作品・審査員特別賞8作品・デジタルマップ特別賞5作品・佳作50作品のいずれかに該当する小学校・団体です。

都道府県	応募団体数	応募作品数	児童数	学校・団体名
富山	4	5	40	砺波市立出町小学校 父母と教師の会／東部ブリュワーズ／片貝探検隊／野村小学校キッズ
石川	26	49	261	おとめ2人組／かほく市子ども会 宇ノ気支部 宇ノ気旭町子ども会／かほく市子ども会 宇ノ気支部 宇ノ気子ども会／かほく市子ども会 宇ノ気支部 栄町子ども会／かほく市子ども会 宇ノ気支部 横山子ども会／かほく市子ども会 宇ノ気支部 指江子ども会／かほく市子ども会 宇ノ気支部 七窪子ども会／かほく市子ども会 宇ノ気支部 狩鹿野子ども会／かほく市子ども会 宇ノ気支部 内日角子ども会／かほく市子ども会 高松支部 古宮町子ども会／かほく市子ども会 高松支部 三北子ども会／かほく市子ども会 高松支部 上伊丹町子ども会／かほく市子ども会 高松支部 瀬戸町子ども会／かほく市子ども会 高松支部 内高松子ども会／かほく市子ども会 高松支部 南新町子ども会／かほく市子ども会 高松支部 ニツ屋子子ども会／かほく市子ども会 七塚支部 はまなす子ども会／かほく市子ども会 七塚支部 ひばり子ども会／かほく市子ども会 七塚支部 みどり子ども会／かほく市子ども会 七塚支部 外日角子ども会／かほく市子ども会 七塚支部 若草子ども会／かほく市子ども会 七塚支部 青空子ども会／しげまたんけんたい／チーム東川／石川県小松市立稚松小学校／中挾町子供会
福井	3	4	11	ボーイスカウト福井第21団カブ・ビーバー隊／今立ミニバスケ女子キッズ／東郷探検隊
山梨	6	12	77	ボーイスカウト山梨連盟富士吉田第一団カブ隊／山梨YMCA／小室探検隊／新津兄弟／笛吹市一宮児童館／登校支援型フリースクール にじLabo
長野	8	21	101	ガールスカウト長野県連盟第26団／きよかわ探検隊／こども防災会議いなりやま／長野県信州大学教育学部附属松本小学校／みやだ探検隊／安曇野防犯協会連合会／伊藤家探検隊／通学路安全守り隊
岐阜	7	38	166	せきひろみ探検隊／ボーイスカウト犬山第5団カブ隊／下石どんぐり／岐阜県可児市立広見小学校／星ヶ丘探検隊／滝呂地域力向上実行委員会／浅野姉弟探検隊
静岡	9	11	42	ガールスカウト静岡県第18団・第87団／ガールスカウト静岡県第24団／ガールスカウト静岡県第34団／チーム星花／はとり探検隊／ボーイスカウト浜松第19団／やどん探検隊／仁杉子供会／静岡市草薙児童館
愛知	15	31	220	ぼうさいスター探検隊／ボーイスカウトあま第3団／ボーイスカウト名古屋第11団カブスカウト隊／まつたけ探検隊／愛知県海部郡蟹江町立須西小学校／愛知県西尾市立室場小学校／愛知県豊田市立足助小学校／愛知県名古屋市長勝北小学校／岩戸町会／正木 KIDS FIRE GUARD／東志賀ぼうさい探検隊／日本ボーイスカウト愛知連盟 名古屋第31団／平手北キッズ／万場キッズ／緑区探検隊
三重	9	26	162	かもっこ放課後子ども教室／ちびっこ探検隊／にじいろクラブ／むくっ子探検隊／羽津地区まちづくり推進協議会／三重県四日市市立八郷西小学校／鳥羽市安楽島子ども会／通学路探検隊／緑一色キッズ
滋賀	6	12	28	スプラキッズ／ひこねっこぼうさい探検隊／レックス探検隊／井上キッズ／滋賀県日野町立桜谷小学校／新旭南なかよし探検隊
京都	5	5	20	サクラタウン探検隊／ももキッズ／京都朱六キッズ／生駒防災たんけん隊／静岡市原町西D
大阪	13	102	498	あんぜん探検隊／ガールスカウト大阪府第21団／ときわっ子探検隊／ふじしろ／ボーイスカウト枚方第5団カブ隊／貝塚ぼうさい探検隊／狭山東小学校区探検隊／大阪府茨木市立天王小学校／大阪府堺市立英彰小学校／大阪府堺市立三原台小学校／大阪府堺市立浅香山小学校／大阪府大阪市立三軒家東小学校／大阪府大阪市立城北小学校
兵庫	7	8	35	はなみずき防災探検クラブ／ボーイスカウト三田第1団カブ隊／ラッキー26／雲中たんけんたい／高倉町探検隊／獅子博兎／潮見台町探検隊
奈良	4	10	35	香芝市二上エリア探検隊／生駒市子ども会育成連絡協議会リーダージュニアリーダー研修生／大安寺西自治会／日本ボーイスカウト奈良県連盟橿原第1団 カブ隊
和歌山	11	36	174	黒江こども会／市ノ瀬探検隊／朝日会／文里探検隊／名高ピル子供会／和歌山県すさみ町立周参見小学校／和歌山県橋本市立清水小学校／和歌山県新宮市立三輪崎小学校／和歌山県有田郡広川町立広立小学校／和歌山県有田郡有田川町立御霊小学校／絆キッズ育成プロジェクト
鳥取	2	2	4	サムライキッズ／レインボー探検隊

小学生だけでなく、さまざまな年齢層の方々が主体となって、「参考作品」としてこの活動に参加されています。

都道府県	応募団体数	応募作品数	児童数	学校・団体名
島根	6	9	33	アップル探検隊/しおっぴー探検隊/よつばキッズスクール/高津ぼうさい探検隊/出雲郷小安全マップクラブ /島根県松江市 くもづっ子クラブ
岡山	6	9	60	YMCAせとうち グローバルアフタースクール/チンチラキッズ/とくぼう探検隊/リラクマキッズ/胸上探検隊 /西大寺探検隊
広島	8	31	183	チーム貴船/チーム川角/チーム中溝/ひかゆらキッズ/広島県呉市立昭和中央小学校/広島県福山市: 新涯沖町 内会/池田家キッズ/府中町少年少女消防クラブ
山口	8	22	87	KIZUNA探検隊/SRO探検隊/TGJ探検隊/山口県宇部市立岬小学校/山口県下関市立向井小学校/山口県岩国市 立装港小学校/山口県山陽小野田市立小野田小学校/大西キッズ
徳島	3	3	7	たらいうどん/松島双子チーム/徳島市助任地区なかよし組
香川	6	34	146	かみばやし探検隊/丸亀有志の会/香川県丸亀市立飯山北小学校/香川大学 防災ボランティア講座/国分寺有 志の会/日本総合保険企画有志の会
愛媛	5	6	16	けんこうブラザーズ/みさけ探検隊/愛媛県伊予市立佐礼谷小学校/愛媛県宇和島市立奥南小学校/松山西探検隊
高知	8	14	89	こうちチャレンジ防災探検隊/高知県香美市立舟入小学校/高知県土佐市立蓮池小学校/高知県本山町立本山小 学校/高知県本山町立吉野小学校/高知県立高知ろう学校/児童養護施設 子供の家/南海少年寮
福岡	12	35	118	うえむら探検隊/さくさわコンビ/マーケットリンク探検隊/もとおか探検隊/企救丘まちづくり協議会/行橋 探検隊/篠崎東キッズ/大手町探検隊/長丘ぼうさい探検隊/筒井探検隊/日本ボーイスカウト福岡県連盟那珂 川1団/福岡県福岡市立三苦小学校
佐賀	4	4	16	クレセント探検隊/川上少年サッカークラブ/多久町探検隊/大財探検隊
長崎	4	9	174	みなみなキッズクラブ/石井ファミリー/千年ファミリー/長崎県長崎市立戸町小学校 戸町学童保育たけのこ クラブ
熊本	3	3	12	玉祥寺たんけん隊/山鹿ぼうさい探検チーム/託麻南小校区第2町内子ども会
大分	4	10	90	とよおか児童クラブ/ポラリス児童クラブ/吉野児童育成クラブ/碩田キラキラ隊
宮崎	5	5	77	えがおでみらいをまもれなかよし探検隊/宮崎たんけんキッズ/社会福祉法人 愛育福祉会 こぼと児童クラブ/社 会福祉法人ゆりかご福祉会第二ゆりかご児童クラブ/小松台ぼうさいキッズ
鹿児島	6	23	111	T・Kキッズ/エイト探検隊/見寄り防災キッズ/鹿児島県さつま町立中津川小学校/鹿児島県鹿児島市立皆与志小 学校/鹿児島県鹿児島市立西田小学校
沖縄	34	61	547	一般社団法人りあん うるまわいどキッズ/NPO法人ちゅらネット ちゅらハウス1号館/いしかわ児童館/シビッ クセンター学童クラブ/なはっ子チーム/にしぎき学童クラブ/ひだまり学童CLUB/ひばり放課後児童クラ ブ/ゆたか第2学童クラブ/愛学童/一般社団法人まちづくりうらそえ浦添市立宮城っ子児童センター/浦添市立 森の子児童センター/浦添市立西原児童センター/沖縄県うるま市立城前小学校/沖縄県石垣市立大浜小学校 PTA/沖縄県石垣市立名蔵小学校/沖縄県多良間村立多良間小学校/沖縄県豊見城市なないろ児童クラブ/沖縄県 豊見城市なないろ児童クラブ2/沖縄県豊見城市志茂田児童クラブ/沖縄市高原子ども会育成会/荻道っ子/学童 クラブアフタースクール サンハート/光洋FCぼうさい探検隊/子供の世界学童クラブ/社会福祉法人ちくば福 祉会ちくば学童クラブ/赤道児童センター/中城みなみ学童クラブ/東浜ぼうさい探検隊/平一放課後児童クラ ブ/豊崎学童クラブ/豊崎児童クラブ/北山学童/壺屋児童館

## 過去の入選作品

ぼうさい探検隊マップコンクール入選校・団体(第14回～第18回まで)

※「」内はチーム名です。

参加団体数・ マップ数・児童数	第14回(2017年度)538団体(218校・320団体) 2,582作品 16,370人	第15回(2018年度)566団体(271校・295団体) 2,865作品 17,983人
文部科学大臣賞	坂井市立平章小学校 「平章小学校5年お城チーム」(5年生/福井県)	南宇和郡愛南町立家串小学校 「家串ドリームチーム」(5、6年生/愛媛県)
防災担当大臣賞	三豊市仁尾町児童館 「におっこ清掃探検隊」(1～6年生、中学2年生/香川県)	相馬市川原町児童センター 「みつばち防災探検隊」(3年生/福島県)
消防庁長官賞	札幌市豊平区月寒少年消防クラブ 「月寒ぼうさい探検隊 New Generation」(2～4、6年生/北海道)	本山町立吉野小学校 「寺家チーム」(5、6年生/高知県)
まちのぼうさいキッズ賞	富士見キッズ 「チーム4年」(4年生/東京都)	ガールスカウト奈良県第22団 「ジュニア部門「メジロパトロール」」(4～6年生/奈良県)
気象庁長官賞	亀崎学区少年消防クラブ 「亀っ子防災探検隊」(1、3～5年生/広島県)	富士見キッズ 「Chipika」(2、3年生/東京都)
キッズリスクアドバイザー賞	学童保育ひまわりクラブ 「ひまっしー隊」(1、2、4、5年生/静岡県)	三豊市仁尾町児童館 「におっこ清掃探検隊」(1～6年生/香川県)
未来へのまちづくり賞	西部子ども公民館放課後児童クラブこすもすクラブ 「こすもす探検隊」(3～5年生/福島県)	那覇市立城東小学校 「ちゅらっこ城東」(6年生/沖縄県)
わがまち再発見賞	愛南町立家串小学校 「家串カルテット」(3年生/愛媛県)	愛南町立東海小学校 「東海9」(2、4～6年生/愛媛県)
ぼうさい探検隊賞	一関市中里放課後子ども教室 「中里青ぼうし安全探検隊」(5年生/岩手県)	レンジャー探検隊 「レンジャー探検隊」(3、5年生/茨城県)
審査員特別賞	札幌南区川沿少年消防クラブ 「川沿ジュニア山岳隊」(1～6年生/北海道)	札幌南区川沿少年消防クラブ 「川沿未来レスキュー隊」(1～6年生、中学生/北海道)
	相馬市立中村第二小学校 放課後児童クラブかもめクラブ 「かもめ防災探検隊」(3年生/福島県)	矢巾町立徳田小学校北郡山子ども会 「北郡山子ども会1班」(1～4年生/岩手県)
	鹿嶋市立平井小学校 「平井っ子防災クラブSP」(4、6年生/茨城県)	新潟市立白山小学校 「白山安全まもり隊」(3、5年生/新潟県)
	ガールスカウト神奈川第53団 「GS KANAGAWA 53」(2、3、5年生、年長/神奈川県)	横浜市立汐見台小学校 「汐見台パトロール隊」(5年生/神奈川県)
	鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」(1～6年生/三重県)	加賀市立金明小学校 「金明安全・安心守り隊」(4年生/石川県)
	愛南町立東海小学校 「東海14」(1、3～6年生/愛媛県)	かほく市子ども会 宇ノ気支部 内日角子ども会 「内日角キッズポリス」(6年生/石川県)
	浦添市立 宮城っ子児童センター 「みやぎっこパトロールたい」(1～3年生、年長/沖縄県)	鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」(1、3～6年生、年中、年長/三重県)
	糸満市立 糸満南小学校・糸満南幼稚園 「糸満南っ子ちゅらさん探検隊」(4～6年生、年長/沖縄県)	京都市葵児童館学童クラブ3～6年生・京都府立洛北高校生徒会 「葵児童館安全探検隊」(3～6年生、高校生/京都府)
デジタルマップ特別賞		

第16回(2019年度)594団体(240校・354団体) 2,541作品 16,492人	第17回(2020年度)307団体(76校・231団体) 960作品 5,519人
宇和島市立三浦小学校 「防災キッズ TOYOURA 4」(4、5年生/愛媛県)	北川家 「北川ブラザーズ」(6年生/三重県)
かほく市子ども会 高松支部 内高松子ども会 「内高松子ども会」(6年生/石川県)	愛媛県宇和島市立三浦小学校 「防災キッズ ファイブスター」(3、4年生/愛媛県)
豊田市立足助小学校 「足助の安全・安心を守るたんけん隊」(4年生/愛知県)	北海道札幌南区川沿少年消防クラブ 「川沿未来レスキュー隊」(2~6年生/北海道)
本山町立吉野小学校 「少年少女防災探検隊」(5、6年生/高知県)	福島県相馬市川原町児童センター 「みつばち防災探検隊」(3年生/福島県)
三豊市仁尾町児童館 「におっこ清掃探検隊」(1~6年生/香川県)	東京都足立区立西新井小学校 「西新井小学校」(5年生/東京都)
岡山市立宇野小学校 原尾島チーム 「宇野小学校 原尾島チーム」(3、5年生、中学1年生/岡山県)	岡山市立宇野小学校 原尾島チーム 「宇野小学校 原尾島チーム」(4、6、中学2年生/岡山県)
横浜市立汐見台小学校 「汐見台パトロール隊」(6年生/神奈川県)	北海道奥尻町立青苗小学校 「奥尻町 青苗小3・4年 ぼうさいキッズ」(3、4年生/北海道)
北川ブラザーズ 「北川ブラザーズ」(5年生/三重県)	沖縄県浦添市立宮城ヶ原児童センター 「スマイルフラワー」(5、6年生/沖縄県)
足立区立西新井小学校 「西新井小学校 水色チーム」(5年生/東京都)	福井県小浜市立雲浜小学校 「雲浜防災マップ作り隊」(3年生/福井県)
札幌南区川沿少年消防クラブ 「川沿未来見守り隊」(1~6年生、中学1、2年生/北海道)	中里放課後子ども教室 「中里放課後子ども教室」(4年生/岩手県)
西部子ども公民館放課後児童クラブこすもすクラブ 「こすもす探検隊」(4、5年生/福島県)	西部子ども公民館放課後児童クラブこすもすクラブ 「こすもす探検隊」(4年生/福島県)
富士見キッズ 「Chipika」(3、4年生/東京都)	公益財団法人かわさき市民活動センター 向丘小学校わくわくプラザ 「向丘小学校わくわくプラザ子どもリーダー」(1~3、5年生/神奈川県)
松本市 島内子ども会育成会 「チームしまうちっ子」(3~6年生/長野県)	ガールスカウト山口県第3団 「ガールスカウト山口県第3団ブラウニー(3年生)」(3年生/山口県)
阿南市立津乃峰小学校 「つのみね小3年生」(3年生/徳島県)	愛媛県愛南町立船越小学校 「船越防災隊」(3、4、6年生/愛媛県)
『街角の、危険なヒヤリ!ハッと!』探検隊 「『街角の、危険なヒヤリ!ハッと!』探検隊」(4年生/熊本県)	高知県佐川町立斗賀野小学校 「犠牲者なくそう防災チーム」(6年生/高知県)
豊見城市なないろ児童クラブ2 「ウォーターZグループ」(3、4年生/沖縄県)	社会福祉法人 愛育福祉会 こぼと児童クラブ 「こぼと探検隊」(2年生/宮崎県)
豊崎学童クラブ 「とよさきこうえんまもりたい」(1、2年生/沖縄県)	豊崎学童クラブ 「豊見城安全守りたい」(1~4年生/沖縄県)
	加美消防署西部分署 「どどんこぱっく」(5年生/宮城県)
	ガールスカウト神奈川県第53団 「GS KANAGAWA 53」(3~6年生、中学1年生/神奈川県)
	鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」(1~6年生/三重県)
	徳島県阿南市立橘小学校 「ぼうさいさんぼ3班」(3年生/徳島県)
	豊見城市なないろ児童クラブ 「なないろキングス」(3年生/沖縄県)

## 過去の入選作品

ぼうさい探検隊マップコンクール入選校・団体(第14回～第18回まで)

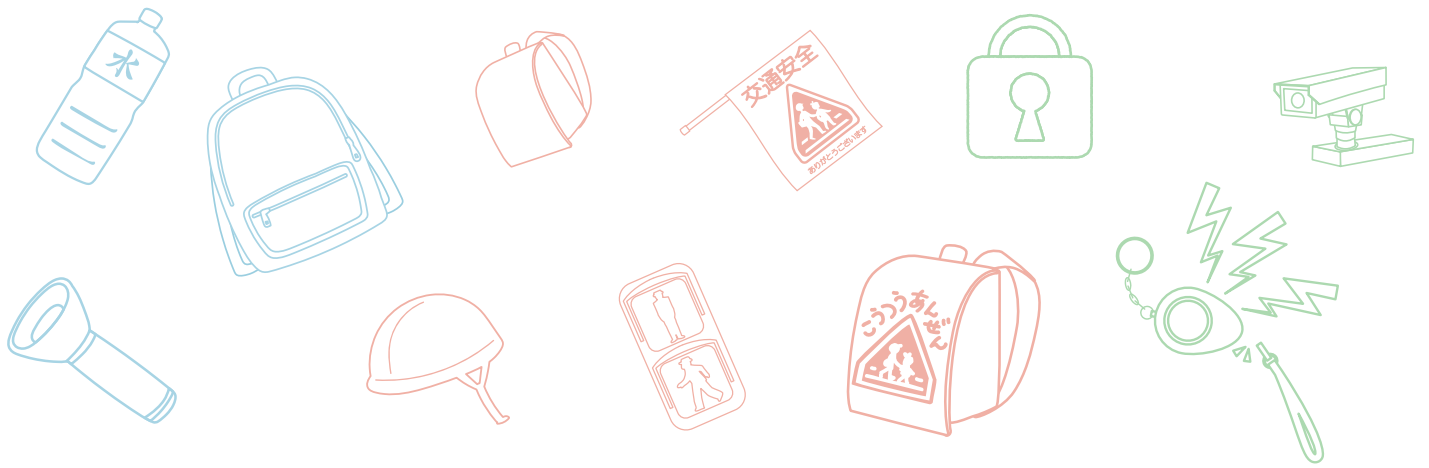
※「 」内はチーム名です。

参加団体数・マップ数・児童数	第18回(2021年度)371団体(73校・298団体)971作品 5,697人
文部科学大臣賞	愛媛県宇和島市立奥南小学校 「板の浦・中浦なかよし組」(3～6年生/愛媛県)
防災担当大臣賞	はちぶせ探検隊 「みんなの命をつなぎ隊 谷瀬三兄弟」(1、4、6年生/和歌山県)
消防庁長官賞	高知県長岡郡本山町立本山小学校 「本山町土砂災害なくし隊」(6年生/高知県)
まちのぼうさいキッズ賞	Kids Creation Afterschool 「Kids Creation TSUKUBA ぼうさい探検隊」(1～4、6年生/茨城県)
気象庁長官賞	公益財団法人かわさき市民活動センター 向丘小学校わくわくプラザ 「みんなのためにがんばる!子どもリーダー」(1～3年生/神奈川県)
キッズリスクアドバイザー賞	ひとよし防災ワクワク組 「ひとよし防災ワクワク組」(1、2、4年生/熊本県)
未来へのまちづくり賞	西部子ども公民館放課後児童クラブ こすもすクラブ 「こすもす探検隊」(4年生/福島県)
わがまち再発見賞	福井県小浜市立雲浜小学校 「チームうんぴん」(4年生/福井県)
ぼうさい探検隊賞	北海道奥尻町立青苗小学校 「青苗小3・4年ぼうさいキッズ」(3、4年生/北海道)
審査員特別賞	北海道札幌南区川沿少年消防クラブ 「川沿未来レスキュー隊」(3～6年生/北海道)
	中里放課後子ども教室 「中里放課後子ども教室」(4年生/岩手県)
	相馬市立中村第二小学校 放課後児童クラブ かもめクラブ 「かもめ探検隊」(3年生/福島県)
	レンジャー探検隊 「レンジャー探検隊」(6年生/茨城県)
	かほく市子ども会 高松支部 内高松子ども会 「地域の皆を守り隊」(6年生/石川県)
	かほく市子ども会 宇ノ気支部 栄町子ども会 「栄町キッズレンジャー」(5、6年生/石川県)
	沖縄県浦添市立宮城ヶ原児童センター 「スマイル探検隊」(3、5年生/沖縄県)
	北山学童 「みんながたいせつ守り隊」(4年生/沖縄県)
デジタルマップ特別賞	THE OBATA 「THE OBATA」(6年生/愛知県)
	ガールスカウト神奈川県第53団 「GS KANAGAWA 53 2班」(4、6年生/神奈川県)
	いまいずみ児童クラブ 「いずみっこanzen洪水チーム」(3～5年生/静岡県)
	鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」(1～5年生、幼児/三重県)
	沖縄県豊見城市なないろ児童クラブ 「防災キッズレインボー探検隊」(2、3年生/沖縄県)

## 継続参加団体

おう ぼ かいすう 応募回数	がっこう だんたいめい 学校・団体名
19回連続	あい ち けん と よ た し り つ あ す け し ょ う が っ こ う 愛知県豊田市立足助小学校
18回	と ぼ し あ ら し ま こ かい 鳥羽市安楽島子ども会／ ふ く し ま けん そ う ま し か わ ら ま ち じ ど う 福島県相馬市川原町児童センター みつばち ぼうさいたんけんたい 防災探検隊
17回	お お さ か ふ だ い だ ん ガールスカウト大阪府第21団
16回	か な が わ けん だ い だ ん ガールスカウト神奈川県第53団／ガールスカウト し ず お かけ けん だ い だ ん 静岡県第34団
15回	ふ ち ゅ う ち ょ う し ょ う ね ん し ょ う じ ゃ し ょ う ぼ う 府中町少年少女消防クラブ／ し ゃ かい ふ く し ほう じ ん 社会福祉法人ゆりかご福祉会 第二ゆりかご じ ど う 児童クラブ
14回	ま さ き き つ ず ふ あ い やー が ー ど 正木 KIDS FIRE GUARD
13回	あ ず み の ぼ う は ん き ょ う かい れ ん だ い 安曇野防犯協会連合会／ボーイスカウト や ま な し れ ん め い ふ じ よ し だ い い ち だ ん たい 山梨連盟富士吉田第一団カブ隊／ そ う ま し り つ な か む ら だ い に し ょ う が っ こ う ほう か ご じ ど う 相馬市立中村第二小学校 放課後児童クラブ か も め ク ラ ブ か も っ こ ほう か ご こ き ょ う し つ かもっこ放課後子ども教室
12回	し ず お かけ けん だ い だ ん お き な わ けん と み く す く し じ ど う ガールスカウト静岡県第24団／沖縄県豊見城市なないろ じ ど う 児童クラブ2／ わ か や ま けん あり だ ぐ ん ひ ろ が わ ち ょ う り つ ひ ろ し ょ う が っ こ う 和歌山県有田郡広川町立広小学校
11回	だ ん たい よ し の じ ど う い く せ い ボーイスカウトさいたま 104 団カブ隊／吉野児童育成クラブ／ や ち よ エ コ ク ラ ブ ひ ば り ほう か ご じ ど う 放課後児童クラブ／ し ゃ かい ふ く し ほう じ ん あ い い く ふ く し かい じ ど う 社会福祉法人 愛育福祉会 こ ば と 児童クラブ

じ ょ う き  
上記は、これまでの19年間のマップコンクールにおいて、継続的にご応募いただいている  
し ょ う が っ こ う だ ん たい かい かい い じ ょ う さん か こん ご て い き て き け い ぞ く て き  
る小学校・団体(19回のうち11回以上のご参加)です。今後もぜひ、定期的・継続的な  
か っ と う と くり ぐ ん で い た だ け れ ば 幸 い で す。  
活動として取り組んでいただければ幸いです。



### 一般社団法人 日本損害保険協会 会員会社一覧

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社  
 アイペット損害保険株式会社  
 アクサ損害保険株式会社  
 アニコム損害保険株式会社  
 イーデザイン損害保険株式会社  
 A I G 損害保険株式会社  
 エイチ・エス損害保険株式会社  
 S B I 損害保険株式会社  
 a u 損害保険株式会社  
 キャピタル損害保険株式会社

共栄火災海上保険株式会社  
 さくら損害保険株式会社  
 ジェイアイ傷害火災保険株式会社  
 セコム損害保険株式会社  
 セゾン自動車火災保険株式会社  
 全管協れいわ損害保険株式会社  
 ソニー損害保険株式会社  
 損害保険ジャパン株式会社  
 大同火災海上保険株式会社  
 東京海上日動火災保険株式会社

トーア再保険株式会社  
 日新火災海上保険株式会社  
 日本地震再保険株式会社  
 ペット&ファミリー損害保険株式会社  
 三井住友海上火災保険株式会社  
 三井ダイレクト損害保険株式会社  
 明治安田損害保険株式会社  
 楽天損害保険株式会社  
 レスキュー損害保険株式会社  
 2023年1月現在 (会員会社 29社 50音順)

一般社団法人 **日本損害保険協会** 〒101-8335 東京都千代田区神田淡路町2-9 URL <https://www.sonpo.or.jp/>  
 業務企画部 啓発・教育グループ TEL : 03-3255-1215 FAX : 03-3255-1236

